

こくほはこだて

(令和5年度(2023年度)版)



函館市市民部国保年金課

目 次

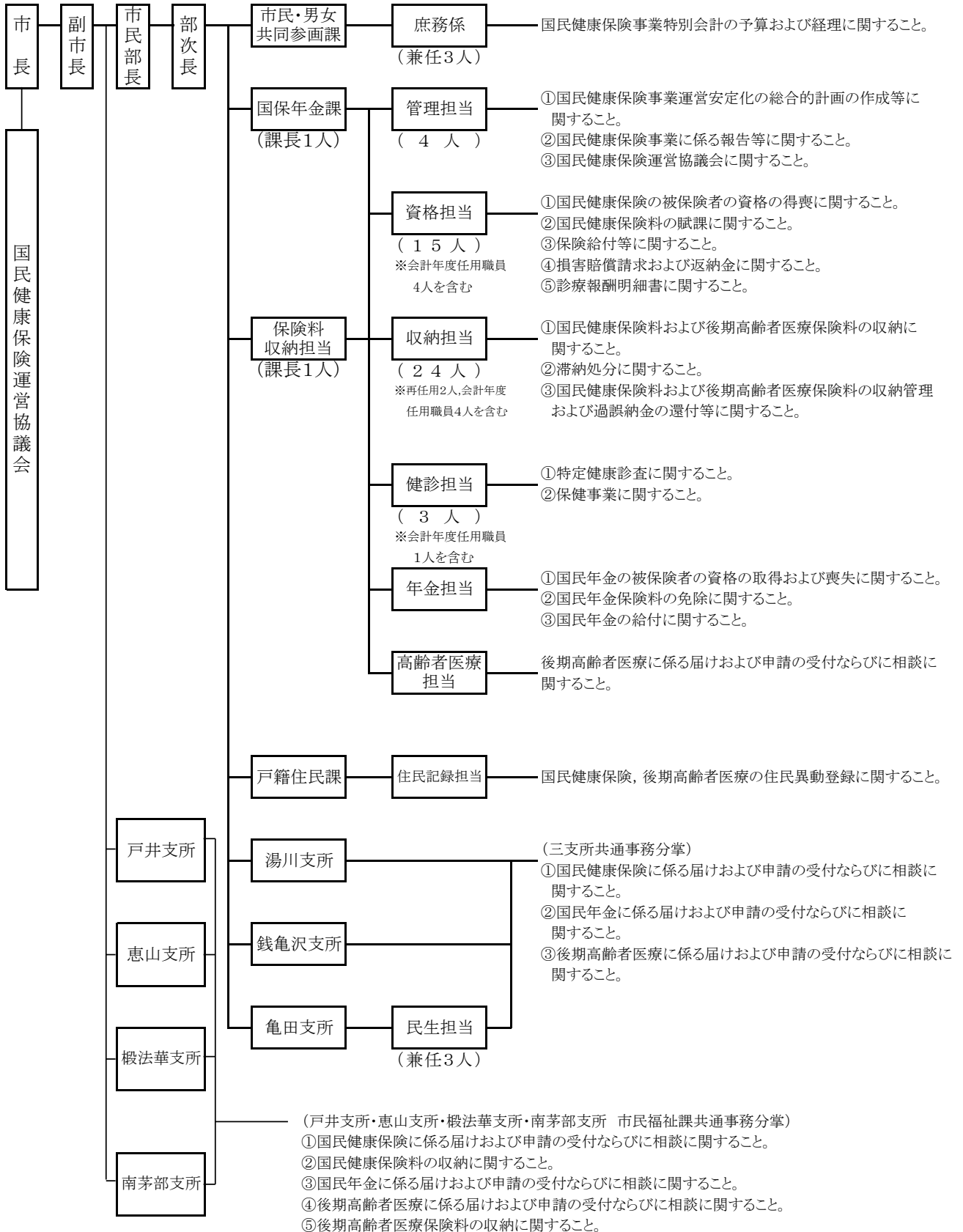
事務機構および事務分掌	1
函館市国民健康保険運営協議会	2
被 保 険 者	
（1）被保険者の推移および加入割合	3
（2）退職被保険者等の推移	3
（3）国保加入者（一般・退職被保険者等）の割合	3
（4）被保険者の異動状況	4
（5）年齢階層別被保険者数の状況	4
（6）令和4年度世帯別構成の状況	5
（7）介護保険第2号被保険者の状況	5
保 険 料	
（1）年度別賦課割合と料率の状況	6
（2）年度別軽減状況（医療給付費分）	6
（3）年度別保険料算定額の状況	7
（4）年度別保険料賦課の状況（医療給付費分および後期高齢者支援金等分）	7
（5）年度別所得段階別世帯数の状況	8
（6）年度別収納状況	9
（7）年度別保険料の納付区分別収納状況	10
（8）年度別滞納世帯等の状況	10
（9）年度別短期被保険者証および資格証明書交付状況	10
保 険 給 付	
（1）療養諸費費用額負担区分（令和4年度実績）	11
（2）療養諸費費用額負担割合	11
（3）療養諸費費用額の診療科目別等構成比	11
（4）一人当たり療養諸費費用額、医療給付費および保険給付費の推移	11
（5）年度別療養諸費給付状況	12
（6）年度別、診療科目別療養給付（診療費）の状況	13
（7）年度別療養費等の支給状況（支給項目別）	15
（8）年度別高額療養費の支給状況	16
（9）年度別高額介護合算療養費の支給状況	16
（10）年度別出産育児一時金・葬祭費の支給状況	16
（11）年度別第三者納付金および返納金の収納状況	17

保 健 事 業	
(1) 特定健康診査・特定保健指導の実施	18
(2) 脳ドック	19
(3) データヘルス計画(第2期)	19
(4) 疾病上位(件数)	22
(5) 疾病上位(年齢階層別・受診率)	22
(6) 年度別医療費通知の実施状況	22
納 付 金 等	
(1) 国民健康保険事業費納付金	23
保 険 財 政	
(1) 令和4年度国民健康保険事業特別会計決算状況	24
(2) 令和4年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算図表	26
(3) 年度別科目別決算状況	27
(4) 年度別被保険者一人当たり諸費決算状況	28
(5) 年度別国保財政安定化支援事業状況	29
(6) 年度別国庫支出金および道支出金の交付状況	29
(7) 年度別一般会計繰入金の繰入状況	29
国保事業のあゆみ	30
医療費改正の変遷	42

事務機構および事務分掌

(令和5年8月1日現在)

()内は国保会計支弁職員 事務職員54人
 専任 48人
 兼任 6人



函館市国民健康保険運営協議会

委員の構成	被保険者代表	4人	計13人
	保険医または保険薬剤師代表	4人	
	公益代表	4人	
	被用者保険等保険者代表	1人	

令和4年度開催回数 2回

函館市国民健康保険運営協議会委員名簿

任 期 令和4年（2022年）1月1日～令和6年（2024年）12月31日

（令和5年8月1日現在）

区分	氏 名	職 業 ま た は 役 職 等	備 考
被 保 険 者 代 表	小山内 眞佐志	公募	
	久 保 清 美	公募	
	千 龍 一 男	公募	
	長 浜 容 子	公募	
保 険 医 ま た は 保 険 薬 剤 師 代 表	久保田 達 也	函館市医師会副会長	
	本 橋 雅 壽	函館市医師会理事	
	椿 田 恵 三	函館歯科医師会副会長	
	柳 原 正 明	函館薬剤師会副会長	
公 益 代 表	堀 田 三千代	函館市社会福祉協議会常務理事	会長
	小 林 八重子	北海道行政書士会函館支部顧問	副会長
	小谷野 千代子	函館市女性会議監事	
	小 林 博 子	函館短期大学教授	
保 険 者 代 表 被 用 者 保 険 等	木 暮 丈 敬	北海道都市職員共済組合事務局次長	

（敬称略）

被 保 険 者

(1) 被保険者の推移および加入割合

年度	全 市		国 保 被 保 険 者					
	年度末現在 A		年度末現在 B		年 間 平 均		加入割合(B÷A)	
	世帯数	人口	世帯数	被保険者数	世帯数	被保険者数	世帯数	被保険者数
平成 30	世帯 141,807	人 256,772	世帯 38,632	人 56,280	世帯 39,367	人 57,702	% 27.24	% 21.92
令和 元	141,221	253,340	37,448	53,976	38,213	55,340	26.52	21.31
2	140,972	250,022	36,983	52,868	37,457	53,705	26.23	21.15
3	140,115	246,256	36,255	51,274	36,806	52,335	25.88	20.82
4	139,419	242,467	34,902	48,722	35,828	50,315	25.03	20.09

(2) 退職被保険者等の推移

年度	退 職 被 保 険 者 等 数					
	年 度 末 現 在			年 間 平 均		
	本 人	被扶養者		本 人	被扶養者	
平成 30	人 126	人 121	人 5	人 254	人 237	人 17
令和 元	7	7	0	50	49	1
2	0	0	0	1	1	0
3	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0

(3) 国保加入者（一般・退職被保険者等）の割合

年度	国保被保険者数(年間平均)						
	人	一般被保険者数				退職被保険者等数	
		人	%	前期高齢者(再掲)	%	人	%
平成 30	57,702	57,448	99.56	27,656	47.93	254	0.44
令和 元	55,340	55,290	99.91	27,226	49.20	50	0.09
2	53,705	53,704	100.00	27,040	50.35	1	0.00
3	52,335	52,335	100.00	26,791	51.19	0	0.00
4	50,315	50,315	100.00	25,575	50.83	0	0.00

(4) 被保険者の異動状況

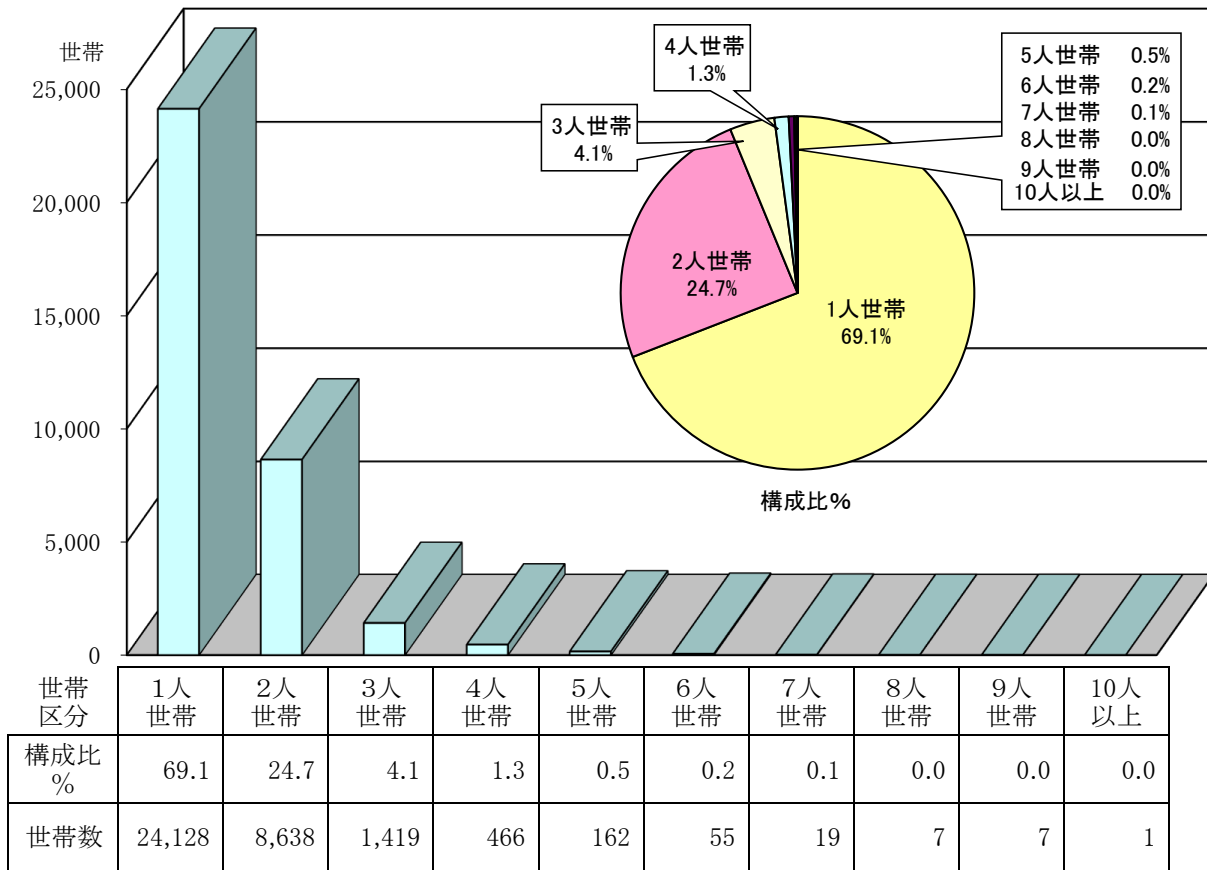
年度	増 (取 得)							減 (喪 失)							差引 増減
	転入	社保 離脱	生保 廃止	出生	後期 離脱	その他	合計	転出	社保 加入	生保 開始	死亡	後期 加入	その他	合計	
平成 30	人 1,483	人 6,472	人 303	人 139	人 6	人 290	人 8,693	人 1,173	人 5,574	人 518	人 468	人 3,312	人 429	人 11,474	人 △ 2,781
令和 元	1,445	6,533	275	114	4	280	8,651	1,217	5,523	511	437	2,731	536	10,955	△ 2,304
2	1,203	6,352	271	108	8	298	8,240	1,035	4,689	449	465	2,301	409	9,348	△ 1,108
3	1,265	6,229	211	101	3	251	8,060	941	4,594	395	436	2,938	350	9,654	△ 1,594
4	1,477	6,573	228	81	2	257	8,618	1,063	5,195	439	465	3,636	372	11,170	△ 2,552

(5) 年齢階層別被保険者数の状況

区分 年齢	全 体		被 保 険 者				加入割合
	人 口	構成比	被 保 険 者		計	構成比	
			一般 被保険者	退職 被保険者等			
0～4 歳	人 5,855	% 3.01	人 544	人 0	人 544	% 1.12	% 9.29
5～9	7,392	3.80	797	0	797	1.64	10.78
10～14	8,596	4.42	938	0	938	1.93	10.91
15～19	9,284	4.78	1,063	0	1,063	2.18	11.45
20～24	9,232	4.75	1,029	0	1,029	2.11	11.15
25～29	9,001	4.63	1,025	0	1,025	2.10	11.39
30～34	9,552	4.92	1,185	0	1,185	2.43	12.41
35～39	11,642	5.99	1,718	0	1,718	3.53	14.76
40～44	14,158	7.29	2,192	0	2,192	4.50	15.48
45～49	17,463	8.99	2,588	0	2,588	5.31	14.82
50～54	18,093	9.31	3,058	0	3,058	6.28	16.90
55～59	16,308	8.39	3,118	0	3,118	6.40	19.12
60～64	16,562	8.52	4,466	0	4,466	9.17	26.97
65～69	18,052	9.29	9,007	0	9,007	18.49	49.89
70～74	23,142	11.91	15,994	0	15,994	32.83	69.11
合 計	194,332	100.00	48,722	0	48,722	100.00	25.07

※ 令和4年度未現在

(6) 令和4年度世帯別構成の状況（年度末現在）



(7) 介護保険第2号被保険者の状況

区分	国保被保険者		介護保険第2号被保険者					
	年度末現在 A		年度末現在 B		年間平均		加入割合(B÷A)	
	世帯数	被保険者数	世帯数	被保険者数	世帯数	被保険者数	世帯数	被保険者数
年度	世帯	人	世帯	人	世帯	人	%	%
平成30	38,632	56,280	15,757	18,139	16,220	18,750	40.79	32.23
令和元	37,448	53,976	14,857	17,001	15,384	17,658	39.67	31.50
2	36,983	52,868	14,531	16,576	14,813	16,933	39.29	31.35
3	36,255	51,274	14,097	16,054	14,362	16,365	38.88	31.31
4	34,902	48,722	13,605	15,422	13,967	15,881	38.98	31.65

保 険 料

(1) 年度別賦課割合と料率の状況

年度	税料別	納期回数	賦課割合			区 分	料 率			賦課限度額	
			応能		応益		所得割	応益		函館市	国の基準
			所得割	均等割				均等割	平等割		
平成						%	円	円	千円	千円	
30	料	10回	50%	30%	20%	医療給付費分	10.01	22,250	22,740	580	580
						後期高齢者支援金等分	3.25	7,230	7,390	190	190
						介護納付金分	2.74	7,540	5,840	160	160
令和元	料	10回	50%	30%	20%	医療給付費分	10.50	23,520	23,790	610	610
						後期高齢者支援金等分	3.18	7,160	7,240	190	190
						介護納付金分	2.56	7,110	5,460	160	160
2	料	10回	49%	31%	20%	医療給付費分	9.94	24,110	23,340	630	630
						後期高齢者支援金等分	3.19	7,650	7,410	190	190
						介護納付金分	2.66	7,890	5,830	170	170
3	料	10回	49%	31%	20%	医療給付費分	10.19	24,120	23,150	630	630
						後期高齢者支援金等分	3.19	7,500	7,190	190	190
						介護納付金分	2.58	7,530	5,550	170	170
4	料	10回	48%	32%	20%	医療給付費分	10.28	24,550	22,610	650	650
						後期高齢者支援金等分	3.21	7,650	7,040	200	200
						介護納付金分	2.89	7,890	5,630	170	170

※ 納期は6月～3月。

※ 料率欄の所得割は、課税総所得金額（基礎控除後）に賦課する料率。

※ 均等割は、加入者一人当たり額、平等割は、加入世帯一世帯当たり額。

(2) 年度別軽減状況（医療給付費分）

年度	区分	軽減対象			総数に占める割合	
		世帯数	被保険者数	保険料軽減額	世 帯	被保険者
平成		世帯	人	円	%	%
30	7割	18,057	22,606	632,564,359	44.56	37.82
	5割	6,798	11,528	200,852,370	16.78	19.29
	2割	4,690	8,059	55,931,806	11.57	13.49
	計	29,545	42,193	889,348,535	72.91	70.60
令和元	7割	17,428	21,588	637,976,094	44.62	37.98
	5割	6,682	11,133	205,243,495	17.11	19.58
	2割	4,580	7,760	56,884,596	11.72	13.65
	計	28,690	40,481	900,104,185	73.45	71.21
2	7割	17,074	21,060	626,878,091	45.01	38.60
	5割	6,564	10,721	200,589,440	17.30	19.65
	2割	4,513	7,559	56,119,360	11.90	13.85
	計	28,151	39,340	883,586,891	74.21	72.10
3	7割	17,439	21,417	636,878,795	46.56	40.04
	5割	6,363	10,386	193,651,525	16.99	19.42
	2割	4,307	7,175	53,231,260	11.50	13.42
	計	28,109	38,978	883,761,580	75.05	72.88
4	7割	17,475	21,427	637,740,145	47.46	41.13
	5割	6,358	10,295	193,072,915	17.27	19.76
	2割	4,191	6,872	51,348,522	11.38	13.19
	計	28,024	38,594	882,161,582	76.11	74.08

(3) 年度別保険料算定額の状況

年度	区分	算定額内訳				B 保険料軽減額		C 限度額を超える額	D 増減額等	調定額 A-(B+C+D)
		所得割	均等割	平等割	計 A	低所得者分	未就学児分			
平成 30	医療	千円 2,561,609	千円 1,330,528	千円 888,329	千円 4,780,466	千円 865,413		千円 294,072	千円 113,519	千円 3,507,462
	後期	831,692	432,346	288,704	1,552,742	281,229		94,342	36,033	1,141,138
	介護	281,943	147,694	98,445	528,082	93,803		28,823	13,612	391,844
令和 元	医療	2,576,465	1,337,558	893,398	4,807,421	903,194		310,467	64,521	3,529,239
	後期	780,301	407,182	271,882	1,459,365	274,915		90,796	18,593	1,075,061
	介護	252,273	130,995	87,322	470,590	84,344		29,242	12,798	344,206
2	医療	2,375,313	1,316,382	850,921	4,542,616	886,213		251,170	228,745	3,176,488
	後期	762,299	417,683	270,165	1,450,147	281,265		87,497	73,622	1,007,763
	介護	242,129	136,702	88,284	467,115	88,279		20,952	38,635	319,249
3	医療	2,328,782	1,290,999	834,077	4,453,858	886,712		257,294	216,328	3,093,524
	後期	729,030	401,430	259,050	1,389,510	275,592		84,582	67,457	961,879
	介護	225,079	127,475	82,229	434,783	84,603		19,509	36,778	293,893
4	医療	2,173,737	1,279,055	799,959	4,252,751	647,532	5,560	236,866	418,623	2,944,170
	後期	678,764	398,565	249,080	1,326,409	274,802	1,733	75,175	57,545	917,154
	介護	219,203	129,562	81,016	429,781	87,824	0	22,006	27,093	292,858

(4) 年度別保険料賦課の状況 (医療給付費分および後期高齢者支援金等分)

年度	調定額		一世帯当たり		一人当たり	
	総額	前年比	調定額	前年比	調定額	前年比
平成 30	円 4,648,599,430	% 90.86	円 118,084	% 94.39	円 80,562	% 95.54
令和 元	4,604,300,009	99.05	120,490	102.04	83,200	103.27
2	4,184,249,941	90.88	111,708	92.71	77,912	93.64
3	4,055,421,358	96.92	110,184	98.64	77,490	99.46
4	3,861,324,084	95.21	107,774	97.81	76,743	99.04

(5) 年度別所得段階別世帯数の状況（保険料確定賦課時）

(単位:世帯, %)

年度	区分	所得の 無い世帯	43万円 以下	43万円 ～ 50万円	50万円 ～ 100万円	100万円 ～ 150万円	150万円 ～ 200万円	200万円 ～ 300万円	300万円 以上	合計
平成 30	世帯数	16,095	4,600	2,512	6,270	5,142	2,694	2,143	2,118	41,574
	割合	38.72	11.06	6.04	15.08	12.37	6.48	5.16	5.09	100.00
令和 元	世帯数	15,035	4,329	2,306	5,979	4,935	2,491	2,004	1,959	39,038
	割合	38.51	11.09	5.91	15.32	12.64	6.38	5.13	5.02	100.00
2	世帯数	14,867	4,294	2,282	5,912	4,942	2,470	2,075	1,995	38,837
	割合	38.28	11.06	5.88	15.22	12.72	6.36	5.34	5.14	100.00
3	世帯数	13,895	5,530	980	5,892	4,920	2,791	2,297	2,041	38,346
	割合	36.23	14.42	2.56	15.37	12.83	7.28	5.99	5.32	100.00
4	世帯数	14,076	5,434	973	5,852	4,822	2,578	2,176	1,843	37,754
	割合	37.29	14.39	2.58	15.50	12.77	6.83	5.76	4.88	100.00

※令和2年度以前は, 所得区分43万円は33万円

(6) 年度別収納状況

年度・区分			調定額	収納済額	収納率	不納欠損額	収入未済額		
			円	円	%	円	円		
平成	30	現年	一般	医療給付分	3,491,702,524	3,230,599,596	92.52	375,473	260,727,455
				後期高齢者支援金等分	1,136,005,929	1,049,580,846	92.39	124,573	86,300,510
			介護納付金分	387,514,906	345,167,940	89.07	27,466	42,319,500	
			計	5,015,223,359	4,625,348,382	92.23	527,512	389,347,465	
		退職	医療給付分	15,758,990	15,351,192	97.41	0	407,798	
			後期高齢者支援金等分	5,131,987	4,991,914	97.27	0	140,073	
	滞繰	介護納付金分	4,329,224	4,174,928	96.44	0	154,296		
		計	25,220,201	24,518,034	97.22	0	702,167		
	計			5,040,443,560	4,649,866,416	92.25	527,512	390,049,632	
	一般被保険者			1,322,842,511	230,636,327	17.43	503,509,884	588,696,300	
	退職被保険者等			11,665,160	2,914,209	24.98	4,985,053	3,765,898	
	計			1,334,507,671	233,550,536	17.50	508,494,937	592,462,198	
合計			6,374,951,231	4,883,416,952	76.60	509,022,449	982,511,830		
令和	元	現年	一般	医療給付分	3,525,900,883	3,271,142,850	92.77	148,637	254,609,396
				後期高齢者支援金等分	1,074,037,552	995,698,805	92.71	45,193	78,293,554
			介護納付金分	343,417,357	307,890,200	89.65	16,360	35,510,797	
			計	4,943,355,792	4,574,731,855	92.54	210,190	368,413,747	
		退職	医療給付分	3,338,106	3,327,717	99.69	0	10,389	
			後期高齢者支援金等分	1,023,468	1,020,319	99.69	0	3,149	
	滞繰	介護納付金分	788,153	783,228	99.38	0	4,925		
		計	5,149,727	5,131,264	99.64	0	18,463		
	計			4,948,505,519	4,579,863,119	92.55	210,190	368,432,210	
	一般被保険者			971,673,260	203,335,679	20.93	298,769,565	469,568,016	
	退職被保険者等			4,469,130	1,728,810	38.68	1,213,376	1,526,944	
	計			976,142,390	205,064,489	21.01	299,982,941	471,094,960	
合計			5,924,647,909	4,784,927,608	80.76	300,193,131	839,527,170		
2	現年	一般	医療給付分	3,176,479,530	3,021,169,370	95.11	188,778	155,121,382	
			後期高齢者支援金等分	1,007,759,825	957,471,040	95.01	60,302	50,228,483	
			介護納付金分	319,244,875	295,988,908	92.72	3,480	23,252,487	
			計	4,503,484,230	4,274,629,318	94.92	252,560	228,602,352	
		退職	医療給付分	8,036	8,036	100.00	0	0	
			後期高齢者支援金等分	2,550	2,550	100.00	0	0	
	滞繰	介護納付金分	4,000	4,000	100.00	0	0		
		計	14,586	14,586	100.00	0	0		
	計			4,503,498,816	4,274,643,904	94.92	252,560	228,602,352	
	一般被保険者			816,575,930	189,170,339	23.17	258,857,084	368,548,507	
	退職被保険者等			1,534,507	561,634	36.60	675,945	296,928	
	計			818,110,437	189,731,973	23.19	259,533,029	368,845,435	
合計			5,321,609,253	4,464,375,877	83.89	259,785,589	597,447,787		
3	現年	一般	医療給付分	3,093,531,337	2,956,181,716	95.56	205,326	137,144,295	
			後期高齢者支援金等分	961,880,661	918,091,904	95.45	63,788	43,724,969	
			介護納付金分	293,893,171	272,946,619	92.87	42,177	20,904,375	
			計	4,349,305,169	4,147,220,239	95.35	311,291	201,773,639	
		退職	医療給付分	7,180	7,180	100.00	0	0	
			後期高齢者支援金等分	2,180	2,180	100.00	0	0	
	滞繰	介護納付金分	1,360	1,360	100.00	0	0		
		計	10,720	10,720	100.00	0	0		
	計			4,349,315,889	4,147,230,959	95.35	311,291	201,773,639	
	一般被保険者			598,674,779	129,581,457	21.64	213,615,991	255,477,331	
	退職被保険者等			296,928	95,914	32.30	112,052	88,962	
	計			598,971,707	129,677,371	21.65	213,728,043	255,566,293	
合計			4,948,287,596	4,276,908,330	86.43	214,039,334	457,339,932		
4	現年	一般	医療給付分	2,944,170,081	2,819,097,161	95.75	7,197	125,065,723	
			後期高齢者支援金等分	917,154,003	877,460,773	95.67	2,236	39,690,994	
			介護納付金分	292,858,070	272,153,348	92.93	0	20,704,722	
			計	4,154,182,154	3,968,711,282	95.54	9,433	185,461,439	
		退職	医療給付分	0	0		0	0	
			後期高齢者支援金等分	0	0		0	0	
	滞繰	介護納付金分	0	0		0	0		
		計	0	0		0	0		
	計			4,154,182,154	3,968,711,282	95.54	9,433	185,461,439	
	一般被保険者			460,102,437	109,607,755	23.82	155,273,411	195,221,271	
	退職被保険者等			88,962	16,275	18.29	72,687	0	
	計			460,191,399	109,624,030	23.82	155,346,098	195,221,271	
合計			4,614,373,553	4,078,335,312	88.38	155,355,531	380,682,710		

※ 収納額には、還付未済額を含む。

(7) 年度別保険料の納付区分別収納状況

年度	調定額 (現年度)	収納額	納付区分			
			自主納付等	口座振替	特別徴収	うち、コンビニ分
平成	円	円	円	円	円	円
30	5,040,443,560	4,649,866,416 (100.00%)	2,737,795,244 (58.88%)	1,283,172,952 (27.60%)	1,507,560,032 (32.42%)	404,511,140 (8.70%)
令和元	4,948,505,519	4,579,863,119 (100.00%)	2,659,412,007 (58.07%)	1,305,539,758 (28.51%)	1,498,016,972 (32.71%)	422,434,140 (9.22%)
2	4,503,498,816	4,274,643,904 (100.00%)	2,472,230,643 (57.83%)	1,260,794,062 (29.49%)	1,404,455,501 (32.86%)	397,957,760 (9.31%)
3	4,349,315,889	4,147,230,959 (100.00%)	2,394,371,249 (57.74%)	1,250,204,238 (30.15%)	1,377,851,440 (33.22%)	375,008,270 (9.04%)
4	4,154,182,154	3,968,711,282 (100.00%)	2,318,525,451 (58.42%)	1,293,585,979 (32.59%)	1,304,075,611 (32.86%)	346,110,220 (8.72%)

※ 収納額には、還付未済額を含む。

※ 括弧内は、各納付区分の構成比。

(8) 年度別滞納世帯等の状況

年度	調定額	収納額	未収額	収納率	全世帯数	完納世帯数	滞納世帯数	滞納世帯率
平成	円	円	円	%	世帯	世帯	世帯	%
30	5,040,443,560	4,649,866,416	390,577,144	92.25	46,576	42,099	4,477	9.61
令和元	4,948,505,519	4,579,863,119	368,642,400	92.55	44,382	40,271	4,111	9.26
2	4,503,498,816	4,274,643,904	228,854,912	94.92	42,213	39,221	2,992	7.09
3	4,349,315,889	4,147,230,959	202,084,930	95.35	41,807	39,007	2,800	6.70
4	4,154,182,154	3,968,711,282	185,470,872	95.54	41,497	38,878	2,619	6.31

※ 世帯数=年間延べ世帯数

(9) 年度別短期被保険者証および資格証明書交付状況 (年度末現在)

年度	交付世帯数	
	短期被保険者証	資格証明書
平成	世帯	世帯
30	303	64
令和元	244	46
2	184	34
3	139	24
4	105	15

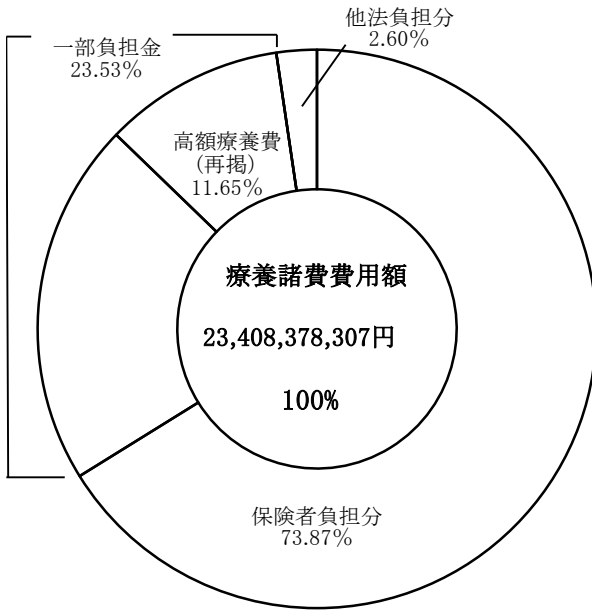
保 険 給 付

(1) 療養諸費費用額負担区分 (令和4年度実績)

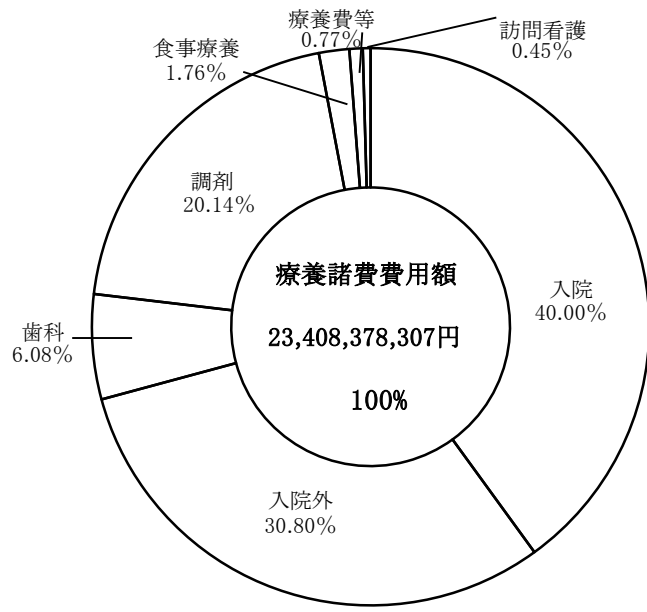
区分	費用額 a	保険者負担分 b	一部負担金 c		他法負担分		給付率 b+d/a-e	実質一部負担割合 c-d/a-e
			高額療養費 ※高額介護合算分 除く (再掲) d	他法優先 e	国保優先 f			
療養の給付	円	円	円	円	円	円	%	%
一般	23,228,067,617	17,156,795,342	5,461,647,648	2,727,129,025	0	609,624,627	85.60	11.77
退職	0	0	0	0	0	0	-	-
計	23,228,067,617	17,156,795,342	5,461,647,648	2,727,129,025	0	609,624,627	85.60	11.77
療養費等	円	円	円	円	円	円	%	%
一般	180,306,569	134,858,656	45,447,913	0	0	0	74.79	25.21
退職	4,121	2,884	1,237	0	0	0	-	-
計	180,310,690	134,861,540	45,449,150	0	0	0	74.79	25.21
合計	円	円	円	円	円	円	%	%
一般	23,408,374,186	17,291,653,998	5,507,095,561	2,727,129,025	0	609,624,627	85.52	11.88
退職	4,121	2,884	1,237	0	0	0	69.98	30.02
計	23,408,378,307	17,291,656,882	5,507,096,798	2,727,129,025	0	609,624,627	85.52	11.88

※ 高額療養費とは、一部負担金中の自己負担限度額を超えた部分であり、保険者が負担する(保険者負担分とは区別される)。

(2) 療養諸費費用額負担割合



(3) 療養諸費費用額の診療科目別等構成比



(4) 一人当たり療養諸費費用額、医療給付費および保険給付費の推移

年度	一人当たり療養諸費費用額		一人当たり医療給付費		給付率 b+d/a-e	一人当たり保険給付費		被保険者数 年度平均 (3~2月)
	a/一般+退職	伸率	b+d/一般+退職	伸率		b/一般+退職	伸率	
平成	円	%	円	%	%	円	%	人
30	423,133	0.8	355,769	1.1	84.1	309,547	0.9	57,933
令和	円	%	円	%	%	円	%	人
元	435,898	3.0	369,507	3.9	84.8	319,902	3.4	55,532
2	438,960	0.7	375,425	1.6	85.5	322,970	1.0	53,797
3	453,089	3.2	388,613	3.5	85.5	334,345	3.5	52,467
4	463,275	2.3	396,192	2.0	85.9	342,219	2.4	50,528

※ 療養諸費費用額(事業年報ベース) = 医療費(総額)

※ 医療給付費 = (1)療養諸費費用額負担区分のうち、「保険者負担分」+「高額療養費」

※ 保険給付費 = (1)療養諸費費用額負担区分のうち、「保険者負担分」

※ 上記の一人当たり医療給付費・保険給付費は、本市が財務分析等を行う際に参考としている指標

※ 上記の一人当たり額を算出する上での被保険者数は、事業年報上の年度平均(3~2月)を使用

(5) 年度別療養諸費給付状況

年度	区分	療 養 の 給 付					
		診 療 費			調 剤 等	小 計	
		件 数	日 数	費 用 額	費 用 額	費 用 額 a	保険者負担額 b
平成 30	一般	638,371	1,251,511	18,596,446,328	5,592,643,137	24,189,089,465	17,697,112,248
	退職	3,463	6,342	87,698,100	37,166,310	124,864,410	87,283,308
	計	641,834	1,257,853	18,684,144,428	5,629,809,447	24,313,953,875	17,784,395,556
令和 元	一般	619,355	1,202,655	18,398,138,946	5,593,537,765	23,991,676,711	17,606,016,637
	退職	768	1,226	17,433,920	5,609,978	23,043,898	16,113,298
	計	620,123	1,203,881	18,415,572,866	5,599,147,743	24,014,720,609	17,622,129,935
2	一般	565,675	1,098,518	18,110,894,160	5,330,130,376	23,441,024,536	17,244,663,620
	退職	17	30	291,420	126,240	417,660	292,362
	計	565,692	1,098,548	18,111,185,580	5,330,256,616	23,441,442,196	17,244,955,982
3	一般	577,038	1,093,722	18,242,070,693	5,337,789,148	23,579,859,841	17,398,006,203
	退職	-2	-4	-21,600	0	-21,600	-15,120
	計	577,036	1,093,718	18,242,049,093	5,337,789,148	23,579,838,241	17,397,991,083
4	一般	565,328	1,052,830	17,994,841,161	5,233,226,456	23,228,067,617	17,156,795,342
	退職	0	0	0	0	0	0
	計	565,328	1,052,830	17,994,841,161	5,233,226,456	23,228,067,617	17,156,795,342

年度	区分	療 養 費 等			療 養 諸 費 の 合 計 (療養の給付+療養費等)	
		件 数	費 用 額 c	保険者負担額 d	費 用 額 a+c	保険者負担額 b+d
平成 30	一般	21,101	198,320,761	147,772,873	24,387,410,226	17,844,885,121
	退職	142	1,108,132	792,177	125,972,542	88,075,485
	計	21,243	199,428,893	148,565,050	24,513,382,768	17,932,960,606
令和 元	一般	20,623	191,449,701	142,552,195	24,183,126,412	17,748,568,832
	退職	22	130,181	93,874	23,174,079	16,207,172
	計	20,645	191,579,882	142,646,069	24,206,300,491	17,764,776,004
2	一般	18,300	173,280,723	129,874,277	23,614,305,259	17,374,537,897
	退職	0	0	0	417,660	292,362
	計	18,300	173,280,723	129,874,277	23,614,722,919	17,374,830,259
3	一般	18,763	192,404,760	144,065,849	23,772,264,601	17,542,072,052
	退職	0	0	0	-21,600	-15,120
	計	18,763	192,404,760	144,065,849	23,772,243,001	17,542,056,932
4	一般	18,416	180,306,569	134,858,656	23,408,374,186	17,291,653,998
	退職	0	0	0	0	0
	計	18,416	180,306,569	134,858,656	23,408,374,186	17,291,653,998

(6) 年度別，診療科目別療養給付（診療費）の状況

(イ)入 院

年度	区分	件数	日数	費用額	受診率	1件当たり 日数	1件当たり 費用額	1人当たり 費用額	1日当たり 費用額
		件	日	円	%	日	円	円	円
平成 30	一般	17,011	273,767	9,781,065,618	29.505	16.09	574,985	169,651	35,728
	退職	68	868	36,399,920	24.373	12.76	535,293	130,466	41,935
	計	17,079	274,635	9,817,465,538	29.481	16.08	574,827	169,462	35,747
令和 元	一般	16,360	262,869	9,587,395,386	29.492	16.07	586,027	172,833	36,472
	退職	12	97	6,384,480	20.000	8.08	532,040	106,408	65,819
	計	16,372	262,966	9,593,779,866	29.482	16.06	585,987	172,761	36,483
2	一般	15,800	254,880	9,769,623,610	29.370	16.13	618,331	181,605	38,330
	退職	0	0	0	0.000	-	-	0	-
	計	15,800	254,880	9,769,623,610	29.370	16.13	618,331	181,602	38,330
3	一般	15,248	244,805	9,606,016,253	29.062	16.05	629,985	183,087	39,239
	退職	0	0	-700	-	-	-	-	-
	計	15,248	244,805	9,606,015,553	29.062	16.05	629,985	183,087	39,239
4	一般	14,338	232,774	9,362,570,591	28.376	16.23	652,990	185,295	40,222
	退職	0	0	0	-	-	-	-	-
	計	14,338	232,774	9,362,570,591	28.376	16.23	652,990	185,295	40,222

(ロ)入 院 外

年度	区分	件数	日数	費用額	受診率	1件当たり 日数	1件当たり 費用額	1人当たり 費用額	1日当たり 費用額
		件	日	円	%	日	円	円	円
平成 30	一般	522,028	774,602	7,328,861,780	905.450	1.48	14,039	127,118	9,461
	退職	2,862	4,335	43,741,060	1,025.806	1.51	15,283	156,778	10,090
	計	524,890	778,937	7,372,602,840	906.029	1.48	14,046	127,261	9,465
令和 元	一般	503,259	739,712	7,360,876,860	907.231	1.47	14,626	132,695	9,951
	退職	632	861	9,399,750	1,053.333	1.36	14,873	156,663	10,917
	計	503,891	740,573	7,370,276,610	907.389	1.47	14,627	132,721	9,952
2	一般	460,204	662,789	6,936,281,030	855.461	1.44	15,072	128,937	10,465
	退職	15	24	251,100	1,500.000	1.60	16,740	251,100	10,463
	計	460,219	662,813	6,936,532,130	855.473	1.44	15,072	128,939	10,465
3	一般	469,195	670,167	7,226,551,880	894.267	1.43	15,402	137,735	10,783
	退職	-2	-4	-20,900	-	-	-	-	-
	計	469,193	670,163	7,226,530,980	894.263	1.43	15,402	137,735	10,783
4	一般	458,068	647,556	7,209,051,430	906.563	1.41	15,738	142,674	11,133
	退職	0	0	0	-	-	-	-	-
	計	458,068	647,556	7,209,051,430	906.563	1.41	15,738	142,674	11,133

(ハ) 歯 科

年 度	件 数	日 数	費 用 額	受診率	1件当たり 日 数	1件当たり 費用額	1人当たり 費用額	1日当たり 費用額	
	件	日	円	%	日	円	円	円	
平成 30	一般	99,332	203,142	1,486,518,930	172.290	2.05	14,965	25,783	7,318
	退職	533	1,139	7,557,120	191.039	2.14	14,178	27,086	6,635
	計	99,865	204,281	1,494,076,050	172.380	2.05	14,961	25,790	7,314
令和 元	一般	99,736	200,074	1,449,866,700	179.795	2.01	14,537	26,137	7,247
	退職	124	268	1,649,690	206.667	2.16	13,304	27,495	6,156
	計	99,860	200,342	1,451,516,390	179.824	2.01	14,536	26,138	7,245
2	一般	89,671	180,849	1,404,989,520	166.687	2.02	15,668	26,117	7,769
	退職	2	6	40,320	200.000	3.00	20,160	40,320	6,720
	計	89,673	180,855	1,405,029,840	166.688	2.02	15,668	26,117	7,769
3	一般	92,595	178,750	1,409,502,560	176.482	1.93	15,222	26,865	7,885
	退職	0	0	0	—	—	—	—	—
	計	92,595	178,750	1,409,502,560	176.482	1.93	15,222	26,865	7,885
4	一般	92,922	172,500	1,423,219,140	183.902	1.86	15,316	28,167	8,251
	退職	0	0	0	—	—	—	—	—
	計	92,922	172,500	1,423,219,140	183.902	1.86	15,316	28,167	8,251

(ニ) 合 計(入院・入院外・歯科)

年 度	件 数	日 数	費 用 額	受診率	1件当たり 日 数	1件当たり 費用額	1人当たり 費用額	1日当たり 費用額	
	件	日	円	%	日	円	円	円	
平成 30	一般	638,371	1,251,511	18,596,446,328	1,107.245	1.96	29,131	322,553	14,859
	退職	3,463	6,342	87,698,100	1,241.219	1.83	25,324	314,330	13,828
	計	641,834	1,257,853	18,684,144,428	1,107.890	1.96	29,111	322,513	14,854
令和 元	一般	619,355	1,202,655	18,398,138,946	1,116.518	1.94	29,705	331,665	15,298
	退職	768	1,226	17,433,920	1,280.000	1.60	22,700	290,565	14,220
	計	620,123	1,203,881	18,415,572,866	1,116.695	1.94	29,697	331,621	15,297
2	一般	565,675	1,098,518	18,110,894,160	1,051.519	1.94	32,016	336,659	16,487
	退職	17	30	291,420	1,700.000	1.76	17,142	291,420	9,714
	計	565,692	1,098,548	18,111,185,580	1,051.531	1.94	32,016	336,658	16,486
3	一般	577,038	1,093,722	18,242,070,693	1,099.811	1.90	31,613	347,687	16,679
	退職	-2	-4	-21,600	—	—	—	—	—
	計	577,036	1,093,718	18,242,049,093	1,099.807	1.90	31,613	347,686	16,679
4	一般	565,328	1,052,830	17,994,841,161	1,118.841	1.86	31,831	356,136	17,092
	退職	0	0	0	—	—	—	—	—
	計	565,328	1,052,830	17,994,841,161	1,118.841	1.86	31,831	356,136	17,092

※ 受診率は、被保険者100人当たりの受診件数を示している。

(7) 年度別療養費等の支給状況(支給項目別)

(単位:件,円)

年度	区分	医 科			歯 科 b	食事療養 c	調 剤 d	移送費 e
		入 院	入 院 外	小 計 a				
平成 30	件 数	6	223	229	74	(432)	110	1
	費用額	2,808,040	3,025,396	5,833,436	847,443	-	1,137,370	120,000
	保険者負担額	2,112,714	2,243,282	4,355,996	595,321	2,082,100	808,104	120,000
	一件当たり費用額	468,007	13,567	25,474	11,452	-	10,340	120,000
令和 元	件 数	9	296	305	53	(370)	196	3
	費用額	3,665,501	3,902,624	7,568,125	830,266	-	1,984,539	360,000
	保険者負担額	2,548,928	2,821,765	5,370,693	586,400	1,809,720	1,429,743	360,000
	一件当たり費用額	407,278	13,185	24,814	15,665	-	10,125	120,000
2	件 数	11	159	170	22	(413)	100	0
	費用額	4,301,264	1,764,356	6,065,620	316,630	-	1,224,430	0
	保険者負担額	3,051,280	1,299,395	4,350,675	223,768	2,397,800	905,132	0
	一件当たり費用額	391,024	11,097	35,680	14,392	-	12,244	0
3	件 数	15	166	181	44	(364)	121	1
	費用額	10,196,853	3,001,590	13,198,443	773,590	-	2,334,020	120,000
	保険者負担額	7,397,117	2,194,791	9,591,908	547,368	2,196,740	1,734,106	120,000
	一件当たり費用額	679,790	18,082	72,920	17,582	-	19,289	120,000
4	件 数	6	293	299	82	(302)	209	0
	費用額	2,166,164	8,429,576	10,595,740	1,061,960	-	3,129,760	0
	保険者負担額	1,507,503	6,114,485	7,621,988	743,372	1,601,560	2,248,283	0
	一件当たり費用額	361,027	28,770	35,437	12,951	-	14,975	-

※食事療養cの件数は、療養の給付等における食事療養の不足額を療養費等で差額支給した件数であり、再掲。

(単位:件,円)

年度	区分	そ の 他					小 計 f	療養費総計 a+b+c+d+e+f
		鍼灸・ マッサージ	装具	看護料	柔 整 師	そ の 他		
平成 30	件 数	4,602	733	-	15,494	-	20,829	21,243
	費用額	58,231,231	23,690,039	-	109,569,374	-	191,490,644	199,428,893
	保険者負担額	42,727,629	17,519,003	-	80,356,897	-	140,603,529	148,565,050
	一件当たり費用額	12,653	32,319	-	7,072	-	9,193	9,388
令和 元	件 数	4,316	744	-	14,655	3	19,718	20,275
	費用額	54,984,262	22,945,498	-	102,554,239	352,953	180,836,952	191,579,882
	保険者負担額	40,516,367	16,977,614	-	75,242,579	352,953	133,089,513	142,646,069
	一件当たり費用額	12,740	30,841	-	6,998	117,651	9,171	9,449
2	件 数	3,772	621	-	13,199	3	17,595	17,887
	費用額	48,515,685	20,183,168	-	96,732,231	352,953	165,784,037	173,390,717
	保険者負担額	35,660,199	14,937,745	-	71,155,999	242,959	121,996,902	129,874,277
	一件当たり費用額	12,862	32,501	-	7,329	117,651	9,422	9,694
3	件 数	3,700	723	-	13,614	15	18,052	18,399
	費用額	52,059,180	25,078,917	-	97,892,270	948,340	175,978,707	192,404,760
	保険者負担額	38,205,471	18,567,406	-	72,263,572	839,278	129,875,727	144,065,849
	一件当たり費用額	14,070	34,687	-	7,191	63,223	9,748	10,457
4	件 数	3,328	638	-	13,556	2	17,524	18,114
	費用額	49,359,796	20,032,526	-	95,847,458	279,329	165,519,109	180,306,569
	保険者負担額	36,607,913	14,977,887	-	70,793,702	263,951	122,643,453	134,858,656
	一件当たり費用額	14,832	31,399	-	7,070	139,665	9,445	9,954

※食事療養cの件数は再掲のため、療養費総計の件数から除く。

(8) 年度別高額療養費の支給状況

年度	区分	件数	高額療養費	1件当たり 高額療養費	備考
平成 30	一般	35,641	2,661,286,103	74,669	法定給付 S50. 10. 1実施 受領委任払 H2. 7. 1実施 70歳未満の現物給付 H19. 4. 1実施 70歳未満の外来 診療の現物給付 H24. 4. 1実施
	退職	170	16,523,918	97,200	
令和 元	一般	47,345	2,751,941,321	58,125	
	退職	29	2,748,988	94,793	
2	一般	47,675	2,821,912,013	59,191	
	退職	1	22,785	22,785	
3	一般	51,060	2,847,298,279	55,764	
	退職	0	0	—	
4	一般	52,808	2,727,129,025	51,642	
	退職	0	0	—	

(9) 年度別高額介護合算療養費の支給状況

年度	区分	件数	高額介護合算 療養費
平成 30	一般	45	1,042,436
	退職	0	0
令和 元	一般	80	1,505,447
	退職	0	0
2	一般	60	1,136,615
	退職	0	0
3	一般	87	1,497,292
	退職	0	0
4	一般	77	1,501,636
	退職	0	0

(10) 年度別出産育児一時金・葬祭費の支給状況

年度	出産育児一時金			葬 祭 費		
	件数	支給額 (1件当たり)	支給総額	件数	支給額 (1件当たり)	支給総額
平成 30	148	404,000(産科医療補償+16,000)	61,968,000	435	30,000	13,050,000
令和 元	120	404,000(産科医療補償+16,000)	50,240,000	409	30,000	12,270,000
2	103	404,000(産科医療補償+16,000)	43,105,160	430	30,000	12,900,000
3	110	404,000(産科医療補償+16,000) 408,000(産科医療補償+12,000)	46,088,000	397	30,000	11,910,000
4	91	408,000(産科医療補償+12,000)	38,112,000	414	30,000	12,420,000

※ 出産育児一時金の支給額について、令和3年12月出産分まで404,000円、令和4年1月から令和5年3月出産分まで408,000円、令和5年4月出産分以降は488,000円。

※ 産科医療補償制度加入医療機関等での出産について、令和3年12月出産分まで16,000円加算、令和4年1月出産分以降は12,000円加算。

(11) 年度別第三者納付金および返納金の収納状況

年度	第三者納付金		返納金		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成 30	11	17,469,354	326	7,040,117	244	24,509,471
令和 元	17	5,443,187	275	10,766,755	201	16,209,942
2	10	12,173,076	196	4,170,195	142	16,343,271
3	12	14,030,981	154	2,823,405	166	16,854,386
4	7	9,480,628	166	3,851,342	173	13,331,970

保 健 事 業

(1) 特定健康診査・特定保健指導の実施

① 目的

近年の医療費の伸びの大きな要因が、糖尿病・高血圧症・脂質異常症などの生活習慣病の増加や重症化にあることから、中長期的に医療費適正化を図ることを目的として、平成20年度から生活習慣病の発症につながるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した「特定健康診査」と「特定保健指導」の実施が、国保など各医療保険者に義務付けられた。

② 内容

- ・特定健康診査 国保の被保険者で、当該年度中に40歳になる方から75歳未満の方を対象として実施
※後期高齢者医療制度加入者の健康診査は、広域連合から受託し特定健診に準じ実施
- ・特定保健指導 健診結果に基づき、生活習慣病のリスクに応じて対象者を選定し保健指導を実施

③ 実施計画

6年を1期として、具体的な実施方法・目標等を定めた実施計画を策定
(平成30年4月 第3期実施計画策定)

④ 実施方法

・特定健康診査

区 分	健診場所	令和4年度		備 考
		月	午後(13:00~15:00)	
集団健診	函館市医師会健診検査センター	火(3月のみ)	午前(8:30~10:30)	祝日を除く 3月2回
		火(月1回)	午後(17:30~19:00)	
		水・金	午前(8:30~10:30)	祝日を除く
		土(月1回)	午前(8:30~10:30)	8月・1月は無し, 7月・10月は月2回, 3月は月4回
		日(月1回)	午前(8:30~10:30)	10月・3月のみ月2回
巡回健診	町会館等	市内51回		
	地域会館等	東部4支所管内11回		
個別健診	市内委託契約医療機関	102医療機関		

- ・特定保健指導 保健福祉部に業務を委任し実施（公益社団法人函館市医師会に業務を委託）

⑤ 実施人数

区 分	特定健康診査			特定保健指導		
	な し			な し		
本人負担額	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	指導終了者数	実施率
平成	人	人	%	人	人	%
30	41,858	13,191	31.5	1,506	216	14.3
令和 元	40,309	11,922	29.6	1,317	180	13.7
2	39,619	11,664	29.4	1,320	188	14.2
3	38,562	11,950	31.0	1,366	154	11.3
4	36,568	11,937	32.6	1,553	383	24.7

※令和4年度数値は見込み

(2) 脳ドック <開始年度：平成12年度>

年 度	定 員	受診者数
平成	人	人
30	380	373
令和	380	332
元		
2	380	361
3	380	375
4	380	377

1. 本人負担額
8,000円
2. 要 件
 - ・当該年度の4月1日時点で満40歳以上の被保険者であって継続して1年以上加入していること
 - ・保険料の滞納がないこと
 - ・過去4年度に国保脳ドックを受診していないこと
(令和2年度から)

(3) データヘルス計画 (第2期)

① 策定の趣旨

国民健康保険加入者の健康の保持増進と医療費の適正化を図ることを目的に、健診データやレセプトデータを活用しながら効果的かつ効率的な保健事業を進めていくための実施計画「データヘルス計画」を平成27年度に策定し、平成30年度には、これに次ぐ第2期データヘルス計画を策定した。

本計画では、函館市国保の健康課題である「生活習慣病の発症や重症化」, 「医療費の増大」を解決するために、5つの個別事業をかかげ、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った事業展開を図るものである。

② 個別事業名称

- ・特定健康診査未受診者対策事業
- ・健診要医療判定者受診勧奨事業
- ・健診要医療判定者重症化予防事業
- ・糖尿病性腎症重症化予防事業
- ・ジェネリック医薬品普及促進事業

③ 計画期間

平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)までの6年間

④ 実施事業実績

・特定健康診査未受診者対策事業

目 的

被保険者の生活習慣病の予防等に関する健康意識の向上に努めるとともに、特定健康診査未受診者に対する効果的な受診勧奨を実施することにより、被保険者の健康保持と特定健康診査の受診率向上を図る。

実施内容

未受診者への直接的・継続的な働きかけが受診へと結びつくことから、受診勧奨については力を入れることとし、未受診者全員に対する勧奨はがきの送付と、送付後における個別電話勧奨を実施した。電話勧奨の対象者抽出に当たっては健診結果データやレセプトデータを利用して効率的に実施した。

事業の成果

特定健診未受診者をグループに分け、グループごとに電話勧奨を行ったところ、電話がつながった方とそうでない方を比較し、つながった方の健診受診率が伸びていることが確認できた。

区分	電話勧奨者			未勧奨者		
	総 数	受診者数	受診率	総 数	受診者数	受診率
平成	人	人	%	人	人	%
30	3,023	915	30.3	1,068	275	25.7
令和	3,189	1,082	33.9	1,342	303	22.6
元						
2	2,923	1,045	35.8	1,754	315	18.0
3	3,281	787	24.0	3,183	342	10.7
4	3,008	1,009	33.5	1,259	320	25.4

・健診要医療判定者受診勧奨事業

目 的

特定健康診査の結果、要医療と判定された生活習慣病未治療者で、重症化リスクの高い者に対し、保健指導を実施するとともに早期に医療機関への受診を促すことにより、重症化予防を図る。

実 施 内 容

特定健康診査の結果から特定保健指導とはならないものの、腹囲以外の検査数値が高く医療機関への受診が必要とされた者のうち、生活習慣病未治療で、脳・心血管疾患や腎不全などを発症する危険性が高い者に対し、生活習慣の見直しとともに医療機関への受診を促した。

事業の成果

令和4年度に特定健診を受診した者で本事業対象者373人のうち、受診状況を確認できた167人中113人の医療機関受診が確認できた。

年 度	対象者数	受診状況 調査数	受診者数	受診率
平成	人	人	人	%
30	457	457	302	66.1
令和	478	478	281	58.8
元				
2	383	383	234	61.1
3	434	181	121	66.9
4	373	167	113	67.7

- ※ 受診状況調査数は、令和4年6月～令和4年10月までに特定健診を受診した者のうち、その後の医療機関の受診状況調査を完了した数（令和5年6月末現在）
- ※ 受診者数は、令和4年6月～令和4年10月までに特定健診を受診した者のうち、レセプトにより医療機関の受診を確認できた数

・健診要医療判定者重症化予防事業

目 的

特定健康診査受診者のうち、要医療判定となり医療機関を受診した方の事後のフォローアップを行うことにより、治療中断などによる生活習慣病の重症化を予防する。

実 施 内 容

レセプトデータや健診結果データを用いて、糖尿病等の治療中断者に対し医療機関への受診を促す通知を送付し勧奨した。

事業の成果

令和4年度は糖尿病と高血圧で合併症の疑いのある治療中断者を優先し90人に医療機関への勧奨通知を送付、勧奨後7名の医療機関受診が確認できた。

年 度	対象者数	受診状況 調査数	受診者数	受診率
令和	人	人	人	
4	90	86	7	8.1%

・糖尿病性腎症重症化予防事業

目 的

糖尿病や糖尿病性腎症で通院する患者を対象に保健指導等を行うことにより、人工透析への移行などの重症化を防ぎ、患者およびその家族の生活の質の向上とともに、医療費の抑制を図る。

実施内容

糖尿病または糖尿病性腎症で医療機関に通院している患者を対象に、専門の知識を有する保健師等が、医療機関と連携のもと面談や電話等で6か月間集中的に保健指導を行い、患者の生活習慣の改善を図り、人工透析への移行を防ぐ。

事業の成果

参加した多くの方に食事や運動などの生活習慣の改善がみられている。また、修了者の約7割にヘモグロビンA1cなどの検査数値やBMIの改善がみられている。

令和4年度の参加者には人工透析移行者はいなかった。

年 度	実施 人数	プログラム参加者 ※()はプログラム完了者数			継続 フォロー
		新規	継続	計	
平成 30	人 34	人 9	人 4	人 13 (11)	人 21
令和 元	24	7	3	10 (7)	14
2	22	12	0	12 (10)	10
3	17	4	4	8 (8)	9
4	15	9	0	9 (8)	6

・ジェネリック医薬品普及促進事業

目 的

被保険者の医療費や国民健康保険制度に対する認識を深めるとともに、ジェネリック医薬品の使用割合を向上させることにより、医療の質を落とさず医療費の適正化を図る。

実施内容

慢性的疾患により先発品を処方されており、ジェネリック医薬品に変えることで自己負担額が軽くなる方のうち、より差額が大きくなる方を抽出し、差額通知を送付した。また、効き目や安全など普及促進のための啓発内容を記載したリーフレットの送付や、被保険者証やお薬手帳に貼るジェネリック医薬品シールを全被保険者に配付した。

事業の成果

令和4年度のジェネリック医薬品の通知送付後の被保険者全体の使用割合は、昨年度に比べ1.6ポイントの伸びが見られた。

年 度	通知件数	使用割合		
		実施前	実施後	差
平成 30	通 6,289	% 74.5	% 77.1	% 2.6
令和 元	6,322	78.0	80.2	2.2
2	6,324	80.7	82.3	1.6
令和 3	6,279	82.4	82.0	-0.4
4	6,268	82.1	83.6	1.5

(4) 疾病上位 (件数)

(各年度5月診療分)

順位	令和元年度	件数(件)	令和2年度	件数(件)	令和3年度	件数(件)
1	消化器系の疾患	10,643	循環器系の疾患	8,979	循環器系の疾患	9,406
2	循環器系の疾患	10,209	消化器系の疾患	8,220	消化器系の疾患	9,404
3	筋骨格等の疾患	5,665	筋骨格系及び結合組織の疾患	4,623	筋骨格系及び結合組織の疾患	5,040
4	内分泌, 代謝疾患	4,855	内分泌, 栄養及び代謝疾患	4,234	内分泌, 栄養及び代謝疾患	4,564
5	呼吸器系の疾患	3,901	精神及び行動の障害	2,834	眼及び付属器の疾患	3,141
6	眼, 付属器の疾患	3,313	眼及び付属器の疾患	2,822	精神及び行動の障害	2,947
7	精神行動の障害	3,029	皮膚及び皮下組織の疾患	2,412	呼吸器系の疾患	2,517
8	皮膚皮下組織疾患	2,658	呼吸器系の疾患	2,257	皮膚及び皮下組織の疾患	2,457
9	新生物	2,407	新生物<腫瘍>	2,065	新生物<腫瘍>	2,182
10	腎尿路生殖器系の疾患	2,189	腎尿路生殖器系の疾患	1,824	腎尿路生殖器系の疾患	1,834

※ なお, 件数は入院, 入院外の男女・0歳~74歳の合計件数による。

(5) 疾病上位 (年齢階層別・受診率)

(令和3年度5月診療分)

年齢階層	1 位		2 位		3 位	
	分類	受診率(%)	分類	受診率(%)	分類	受診率(%)
0~4歳	呼吸器系の疾患	28.7	皮膚及び皮下組織の疾患	13.6	消化器系の疾患	7.3
5~9歳	消化器系の疾患	16.5	呼吸器系の疾患	13.0	眼及び付属器の疾患	8.3
10~14歳	消化器系の疾患	9.3	皮膚及び皮下組織の疾患	7.8	呼吸器系の疾患	6.7
15~19歳	消化器系の疾患	7.5	皮膚及び皮下組織の疾患	6.6	呼吸器系の疾患	5.0
20~24歳	消化器系の疾患	8.8	精神及び行動の障害	4.6	皮膚及び皮下組織の疾患	4.3
25~29歳	消化器系の疾患	11.6	精神及び行動の障害	6.8	皮膚及び皮下組織の疾患	5.8
30~34歳	消化器系の疾患	13.0	精神及び行動の障害	8.3	皮膚及び皮下組織の疾患	4.4
35~39歳	消化器系の疾患	14.6	精神及び行動の障害	10.1	皮膚及び皮下組織の疾患	5.2
40~44歳	消化器系の疾患	13.6	精神及び行動の障害	9.9	皮膚及び皮下組織の疾患	3.8
45~49歳	消化器系の疾患	15.0	精神及び行動の障害	10.7	循環器系の疾患	5.5
50~54歳	消化器系の疾患	15.0	精神及び行動の障害	9.3	循環器系の疾患	8.2
55~59歳	消化器系の疾患	16.5	循環器系の疾患	12.1	筋骨格系及び結合組織の疾患	7.7
60~64歳	消化器系の疾患	17.1	循環器系の疾患	15.9	内分泌, 栄養及び代謝疾患	8.8
65~69歳	循環器系の疾患	22.3	消化器系の疾患	18.4	内分泌, 栄養及び代謝疾患	10.8
70~74歳	循環器系の疾患	29.0	消化器系の疾患	20.3	筋骨格系及び結合組織の疾患	14.3

(6) 年度別医療費通知の実施状況

実施月	5月	7月	8月	9月	10月	11月	1月	2月	3月	通知内容
平成30年度	世帯	世帯	43,652 (12-6月)	世帯	世帯	世帯	世帯	39,775 (7-12月)	世帯	① 受診者名 ② 診療月 ③ 入院・通院(外来), 歯科・調剤(薬局), 整骨・鍼・灸, マッサージの区分 ④ 診療日数 ⑤ 医療費の額(10割), 自己負担相当額 ⑥ 受診医療機関名
令和元年度					39,602 (1-6月)			38,999 (7-12月)		
2年度							51,602 (1-11月)	25,100 (12月)		
3年度							51,246 (1-11月)	25,123 (12月)		
4年度								50,922 (1-11月)	23,918 (12月)	

※()内は通知診療月

納 付 金 等

(1) 国民健康保険事業費納付金

年 度	医療給付費分	後期高齢者支援金等分	介護納付金分	合 計
平成 3 0	千円 5,165,702	千円 1,462,041	千円 474,632	千円 7,102,375
令和 元	5,143,495	1,395,035	442,546	6,981,076
2	4,979,682	1,390,381	446,351	6,816,414
3	4,815,959	1,343,315	419,761	6,579,035
4	4,761,748	1,310,159	425,840	6,497,747
5 (予算)	4,834,665	1,322,286	420,565	6,577,516

保 險 財 政

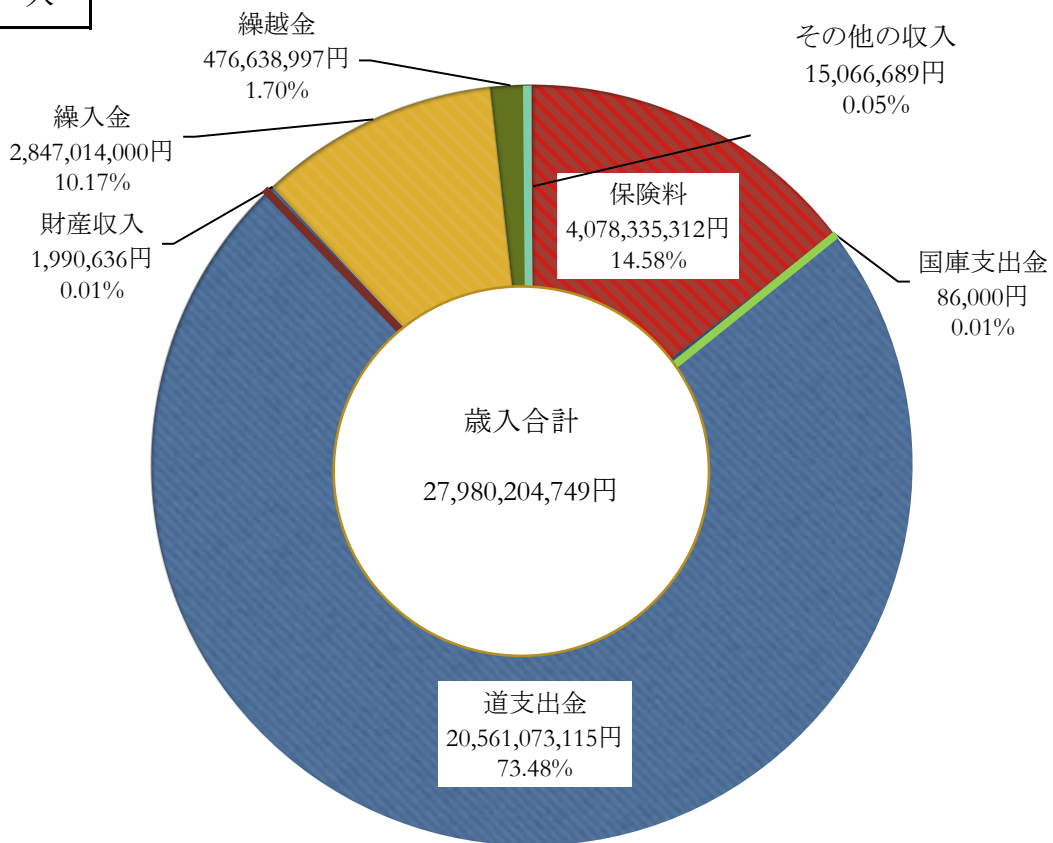
(1) 令和4年度国民健康保険事業特別会計決算状況

歳 入		(単位：円)		
科 目	予 算 現 額 (A)	決 算 額 (B)	増 減 (B)-(A)	備 考
国民健康保険料	3,937,045,000	4,078,335,312	141,290,312	
現年賦課分	3,830,716,000	3,968,711,282	137,995,282	
滞納繰越分	106,329,000	109,624,030	3,295,030	
使用料および手数料	7,000	6,600	△ 400	
国庫支出金	100,000	86,000	△ 14,000	
社会保障・税番号制度 システム整備費補助金	0	0	0	
災害臨時特例補助金	100,000	86,000	△ 14,000	
道 支 出 金	21,122,068,000	20,561,073,115	△ 560,994,885	
保険給付費等交付金 (普通交付金)	20,632,003,000	20,101,053,115	△ 530,949,885	
保険給付費等交付金 (特別交付金)	488,158,000	458,235,000	△ 29,923,000	
健康増進事業費 補助金	1,907,000	1,785,000	△ 122,000	
財 産 収 入	1,990,000	1,990,636	636	
積立基金運用収入	1,990,000	1,990,636	636	
繰 入 金	2,847,014,000	2,847,014,000	0	
繰 越 金	476,638,000	476,638,997	997	
諸 収 入	12,248,000	15,060,089	2,812,089	
延 滞 金	1,710,000	1,365,167	△ 344,833	
第三者納付金	5,900,000	9,480,628	3,580,628	法64条, 件数7件
返 納 金	4,100,000	3,851,342	△ 248,658	民法703条, 件数166件
その他の収入	538,000	362,952	△ 175,048	
歳 入 合 計	28,397,110,000	27,980,204,749 (C)	△ 416,905,251	

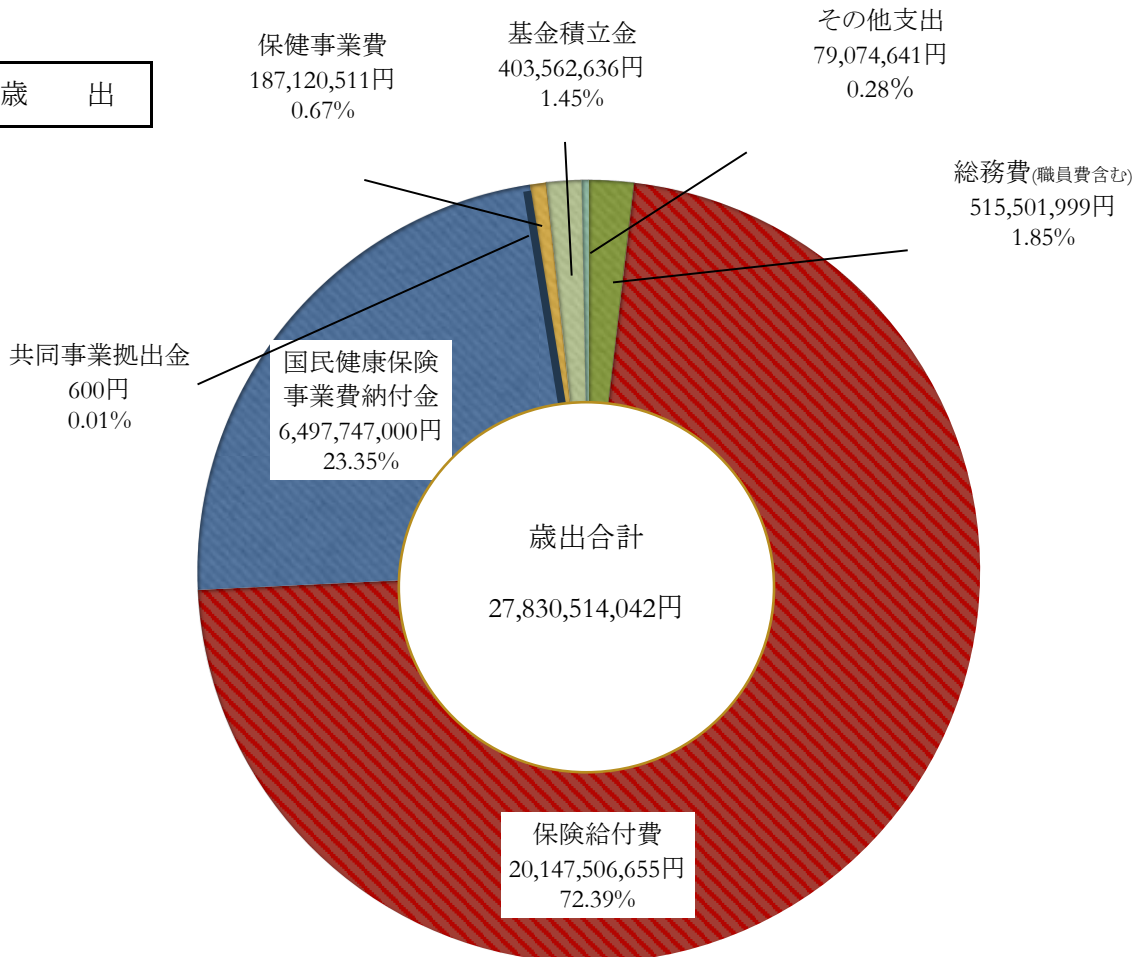
歳 出		(単位：円)		
科 目	予 算 現 額 (A)	決 算 額 (B)	増 減 (A)-(B)	備 考
総 務 費	178,313,000	160,484,727	17,828,273	
一般管理費	59,661,000	57,369,461	2,291,539	
賦課徴収費	50,879,000	48,228,922	2,650,078	
特別対策事業費	67,773,000	54,886,344	12,886,656	
保 險 給 付 費	20,637,793,000	20,147,506,655	490,286,345	
療養給付費	17,531,986,141	17,183,301,981	348,684,160	
療 養 費	133,313,859	133,313,859	0	
審査支払委託費	45,813,000	45,507,755	305,245	
高額療養費	2,865,347,000	2,728,923,554	136,423,446	
高額介護合算療養費	2,000,000	1,501,636	498,364	
移送費	800,000	0	800,000	
出産育児一時金	40,323,000	38,238,953	2,084,047	
葬 祭 費	12,420,000	12,420,000	0	
傷病手当金	5,790,000	4,298,917	1,491,083	
国民健康保険事業費納付金	6,497,747,000	6,497,747,000	0	
医療給付費分	4,761,748,000	4,761,748,000	0	
後期高齢者支援金等分	1,310,159,000	1,310,159,000	0	
介護納付金分	425,840,000	425,840,000	0	
共 同 事 業 拠 出 金	4,000	600	3,400	
保 健 事 業 費	205,535,000	187,120,511	18,414,489	
特定健康診査等事業費	172,066,000	153,780,038	18,285,962	
保健事業費	33,469,000	33,340,473	128,527	
基 金 積 立 金	403,563,000	403,562,636	364	国民健康保険事業財政調整基金積立金
諸 支 出 金	82,495,000	79,074,641	3,420,359	
職 員 費	356,262,000	355,017,272	1,244,728	
予 備 費	35,398,000	0	35,398,000	
歳 出 合 計	28,397,110,000	27,830,514,042 (D)	566,595,958	歳入歳出差引 (翌年度繰越金) (C)-(D)= 149,690,707

(2) 令和4年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算図表

歳 入



歳 出



(3) 年度別科目別決算状況

【歳入】

(単位:千円, %)

科 目	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	決算額	構成	決算額	構成	決算額	構成	決算額	構成	決算額	構成
国民健康保険料	4,883,417	16.5	4,784,927	16.3	4,464,376	15.4	4,276,908	14.8	4,078,335	14.6
現年賦課分	4,649,866	15.7	4,579,863	15.6	4,274,644	14.7	4,147,231	14.4	3,968,711	14.2
滞納繰越分	233,551	0.8	205,064	0.7	189,732	0.7	129,677	0.4	109,624	0.4
国庫支出金	183	0.0	242	0.0	226,056	0.8	173,063	0.6	86	0.0
社会保障・番号制度システム整備費補助金					639	0.0	0	0.0	0	0.0
災害臨時特例補助金	183	0	242	0.0	225,417	0.8	173,063	0.6	86	0.0
道支出金	21,197,487	71.8	21,221,687	72.2	20,849,601	71.5	20,929,770	72.5	20,561,073	73.4
保険給付費等交付金(普通交付金)	20,761,353.0	70.3	20,769,331	70.7	20,328,642	69.7	20,520,178	71.1	20,101,053	71.8
保険給付費等交付金(特別交付金)	434,423.0	1.5	450,592	1.5	519,259	1.8	407,824	1.4	458,235	1.6
健康増進事業費補助金	1,711.0	0.0	1,764	0.0	1,700	0.0	1,768	0.0	1,785	0.0
財産収入			202	0	484	0.0	1,383	0.0	1,991	0.0
繰入金	2,598,042	8.8	2,901,864	9.9	2,980,035	10.2	2,834,494	9.8	2,847,014	10.2
繰越金	843,536	2.9	445,658	1.5	581,436	2.0	645,135	2.2	476,639	1.7
その他の収入	28,450	0.1	20,043	0.1	19,222	0.1	19,722	0.1	15,067	0.1
歳入合計	29,551,115	100.0	29,374,623	100.0	29,121,210	100.0	28,880,475	100.0	27,980,205	100.0

【歳出】

(単位:千円, %)

科 目	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	決算額	構成	決算額	構成	決算額	構成	決算額	構成	決算額	構成
総務費	536,120	1.9	532,730	1.9	574,001	2.0	542,835	1.9	515,502	1.9
保険給付費	20,765,634	71.4	20,663,374	71.8	20,321,819	71.4	20,515,398	72.2	20,147,507	72.4
療養給付費	17,811,043	61.2	17,650,540	61.3	17,267,174	60.6	17,418,601	61.3	17,183,302	61.7
療養費	146,599	0.5	140,519	0.5	127,515	0.4	141,780	0.5	133,314	0.5
審査支払委託料	51,403	0.2	49,602	0.2	45,687	0.2	46,425	0.2	45,508	0.2
高額療養費	2,678,580	9.2	2,759,395	9.6	2,822,456	9.9	2,847,541	10.0	2,728,923	9.8
高額介護合算療養費	1,058	0.0	1,505	0.0	1,137	0.0	1,497	0.0	1,502	0.0
移送費	120	0.0	360	0.0	0	0.0	120	0.0	0	0.0
出産育児一時金	63,781	0.2	49,183	0.2	44,360	0.2	47,171	0.2	38,239	0.1
葬祭費	13,050	0.1	12,270	0.0	12,900	0.0	11,910	0.0	12,420	0.0
傷病手当金					590	0	353	0.0	4,299	0.0
国民健康保険事業費納付金	7,102,375	24.7	6,981,076	24.5	6,816,414	23.9	6,579,035	23.2	6,497,747	23.3
医療給付費分	5,165,702	17.9	5,143,495	18.1	4,979,682	17.5	4,815,959	17.0	4,761,748	17.1
後期高齢者支援金等分	1,462,041	5.2	1,395,035	4.9	1,390,381	4.9	1,343,315	4.7	1,310,159	4.7
介護納付金分	474,632	1.6	442,546	1.6	446,351	1.6	419,761	1.5	425,840	1.5
共同事業拠出金	4	0.0	4	0.0	4	0.0	1	0.0	1	0.0
財政安定化基金拠出金					18	0	7	0.0	0	0.0
保健事業費	173,378	0.6	161,245	0.6	157,465	0.6	174,051	0.6	187,120	0.7
基金積立金			443,214	1.5	434,863	1.5	502,852	1.8	403,563	1.4
その他の支出	527,946	1.8	11,544	0.0	171,491	0.6	89,657	0.3	79,075	0.3
繰上充用金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳出合計	29,105,457	100.0	28,793,187	100.0	28,476,075	100.0	28,403,836	100.0	27,830,515	100.0

※ 総務費には、職員費を含む。

収支差引額	445,658	581,436	645,135	476,639	149,690
-------	---------	---------	---------	---------	---------

(4) 年度別被保険者一人当たり諸費決算状況

【歳入】

(単位:円)

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
国民健康保険料	84,632	86,465	83,129	81,722	81,056
現年賦課分	80,584	82,759	79,596	79,244	78,877
滞納繰越分	4,048	3,706	3,533	2,478	2,179
国庫支出金	3	4	4,209	3,307	2
社会保障・税番号制度システム整備費補助金			12	0	0
災害臨時特例補助金	3	4	4,197	3,307	2
道支出金	367,362	383,478	388,232	399,919	408,646
保険給付費等交付金(普通交付金)	359,803	375,304	378,531	392,093	399,504
保険給付費等交付金(特別交付金)	7,529	8,142	9,669	7,792	9,107
健康増進事業費補助金	30	32	32	34	35
財産収入		4	9	26	40
繰入金	45,025	52,437	55,490	54,161	56,584
繰越金	14,619	8,053	10,827	12,327	9,473
その他の収入	493	362	358	377	299
歳入合計	512,134	530,803	542,254	551,839	556,100

【歳出】

(単位:円)

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総務費	9,291	9,626	10,687	10,372	10,245
保険給付費	359,877	373,390	378,405	392,001	400,427
療養給付費	308,673	318,947	321,525	332,829	341,514
療養費	2,541	2,539	2,374	2,709	2,650
審査支払委託費	891	896	851	887	904
高額療養費	46,421	49,863	52,556	54,410	54,237
高額介護合算療養費	18	27	21	29	30
移送費	2	7	0	2	0
出産育児一時金	1,105	889	826	901	760
葬祭費	226	222	240	228	247
傷病手当金			11	7	85
国民健康保険事業費納付金	123,087	126,149	126,926	125,710	129,141
医療給付費分	89,524	92,944	92,725	92,022	94,639
後期高齢者支援金等分	25,338	25,208	25,890	25,668	26,039
介護納付金分	8,226	7,997	8,311	8,021	8,463
共同事業拠出金	1	1	1	1	1
財政安定化基金拠出金			1	1	0
保健事業費	3,005	2,913	2,931	3,325	3,719
基金積立金		8,009	8,097	9,608	8,021
その他の支出	9,149	208	3,192	1,713	1,572
繰上充用金	0	0	0	0	0
歳出合計	504,410	520,296	530,240	542,731	553,126
収支差引額	7,724	10,507	12,014	9,108	2,974

(5) 年度別国保財政安定化支援事業状況

年度	地方財政計画 計上額	国民健康保険 特別会計繰入額	内 容
平成 30	億円 1,000	千円 444,895	国保財政安定化支援事業は、平成4年度に創設され、国保財政の健全化および保険料負担の平準化に資するため、保険基盤安定制度に基づく低所得者に対する保険料軽減額、病床数が多いことおよび高齢者が多いことによる給付費の増こうに着目し、市町村の一般会計から繰出しに要する経費について、地方財政措置を講じるものである。なお、令和3年度から、病床数が多いことによる給付費の増こう分による算定は廃止された。
令和 元	1,000	446,113	
2	1,000	465,422	
3	1,000	432,199	
4	1,000	465,325	

(6) 年度別国庫支出金および道支出金の交付状況

年度	国庫支出金 ① (②+③+④)	社会保 障・税番 号制度シ ステム整 備費補助 金 ②	災 害 臨 時 特 例 補 助 金 (東日本大震災 分) ③	災 害 等 臨 時 特 例 補 助 金 (新型コロナウイ ルス感染症対応 分) ④	道支出金 ⑤ (⑥+⑦+ ⑧+⑨+⑩)	特別交付金				健 康 増 進 事 業 費 補 助 金 ⑩
						特別調整 交付金分 ※旧特別 調整交付金 (国分) ⑥	保険者 努 力 支 援 制 度 分 ⑦	都道府県 繰入金 (2号分) ※旧特別 調整交付金 (道分) ⑧	特 定 健 診 等 負 担 金 ⑨	
平成 30	千円 183	千円	千円 183	千円	千円 436,134	千円 159,358	125,201	千円 98,298	千円 51,566	千円 1,711
令和 元	242		242		452,356	146,516	131,306	113,364	59,406	1,764
2	226,056	639	110	225,307	520,959	242,012	121,746	102,921	52,580	1,700
3	173,063	0	103	172,960	409,592	151,603	105,633	99,048	51,540	1,768
4	86	0	86		460,020	166,689	121,835	115,303	54,408	1,785

※道支出金は、特別交付金と健康増進事業費補助金の合計(普通交付金を除く)。

(7) 年度別一般会計繰入金の繰入状況

年度	一般会計繰入金 ①	歳 入 歳 出 決 算 額 と の 割 合				被保険者一人 当たり繰入金
		歳入決算額 ②	割 合 ③(①/②)	歳出決算額 ④	割 合 ⑤(①/④)	
平成 30	千円 2,598,042 (396,752)	千円 29,551,115	% 8.79	千円 29,105,457	% 8.93	円 45,025 (6,876)
令和 元	2,901,864 (389,037)	29,374,623	9.88	28,793,187	10.08	52,437 (7,030)
2	2,930,035 (400,238)	29,121,210	10.06	28,476,075	10.29	54,558 (7,453)
3	2,829,976 (377,809)	28,880,475	9.80	28,403,836	9.96	54,074 (7,219)
4	2,846,421 (414,930)	27,980,205	10.17	27,830,515	10.23	56,572 (8,247)

※ ()内は、保険料軽減分繰入金。

国保事業のあゆみ

- 昭和27年 3月 市民の間に国民健康保険について、組合設立の動きがあったことに始まり、市議会において審議され社会保障制度として重要であり、市営とすることの意見の一致をみた。
- 昭和27年12月 市規則をもって議会、医師会及び学識経験者に理事者を加えて、函館市国民健康保険準備委員会を設置。
- 昭和29年12月 市規則をもって設立準備事務局を設置、同事務局に専任職員を置き国民健康保険に関する資料の作成に入る。
- 昭和32年12月 設立準備委員会から事業実施への努力を期待する由の答申が提出された。
設立準備委員会の提言もあり、事業実施の賛否を求める世論調査を実施し77%余の賛意を得た。
- 昭和33年 3月 定例市議会において、国民健康保険事業を同年10月から開始するための所要予算並びに関係条例を可決。
- 昭和33年 4月 函館市国民健康保険条例並びに函館市国民健康保険税条例を制定。
設立準備事務局を廃止し、国民健康保険事務局を設け、庶務、資格、保険税、給付の4係を置く。
- 昭和33年 5月 函館市国民健康保険条例施行規則並びに函館市国民健康保険税条例施行規則を制定。
- 昭和33年 9月 函館市国民健康保険協力会奨励規則を制定。
- 昭和33年10月 函館市国民健康保険事業開始、被保険者世帯 18,005 世帯（加入率 31.69%）、被保険者 67,262 人（加入率 26.85%）、国民健康保険協力会の組織結成を勧誘。
- 昭和33年12月 国は国民皆保険体制を整備するため、国民健康保険法の全文を改正し、市町村に対し、昭和36年4月までに実施するよう義務付けた。
- 昭和34年 1月 基準看護の給付制限を解除。
- 昭和34年 3月 国民健康保険法の改正に伴い、函館市国民健康保険条例の全文を改正し、昭和34年1月1日から適用。
- 昭和34年 4月 国保の保健施設活動のため、保健婦を常置することを決定。
- 昭和34年 5月 庶務係に保健婦5人を配し、うち1名を亀尾地区に常駐。
- 昭和34年 6月 亀尾地区の農林会館に診療室を設け、内科医の巡回診療を開始。
- 昭和34年 7月 亀尾地区に歯科の巡回診療を開始。
機構改革により国民保険部に改組し、庶務課（庶務、資格、給付、国民年金4係）と保険税課（賦課、徴収、2係）の2課を置く。
- 昭和36年10月 国民健康保険法の改正により世帯主の結核疾病及び精神障害について7割給付実施。
- 昭和37年 4月 助産費500円を1,000円に、葬祭費1,000円を2,000円に改める。
国保保健婦を身分保留のまま保健所に統合。
- 昭和37年10月 療養の給付期間（3年）の制限を撤廃。
- 昭和38年 4月 低所得者に対し法定軽減（6割・4割）措置を実施。
往診、給食、寝具設備及び歯科補綴の給付制限解除、助産費1,000円を2,000円に改める。
- 昭和38年10月 世帯主の全疾病に7割給付を実施。
- 昭和41年11月 銭亀沢村を函館市に編入することに伴う函館市国民健康保険条例及び函館市国民健康保険税条例の特例に関する条例を制定。

- 昭和41年12月 銭亀沢村と合併し、国保被保険者世帯20,120世帯、被保険者62,563人となる。
- 昭和42年 1月 世帯員の7割給付を実施。(世帯全員7割給付)
- 昭和42年 3月 銭亀沢村を函館市に編入することに伴う函館市国民健康保険条例及び函館市国民健康保険税の特例に関する条例を廃止。
- 昭和43年 4月 住民基本台帳法の制定に伴い被保険者の資格得喪に伴う事務の窓口一本化を実施。
昭和37年4月1日に保健所に統合した国保保健婦を保健所から分離し国民保険部に配置。
- 昭和44年 4月 機構改革により資格、保険税両係を統合し、保険税課賦課係とし、庶務課に保健係を新設。
- 昭和44年 6月 函館市国民健康保険税条例の廃止と函館市国民健康保険条例の全文改正を行い保険税を保険料に、賦課方式をただし書方式に保険料賦課限度額50,000円を80,000円に改める。
低所得者(年収60万円以下)に対し自主軽減措置を実施。
- 昭和45年 4月 助産費2,000円を5,000円に改める。
低所得者(年収40万円以下)に対し、自主軽減措置を実施。
- 昭和45年 6月 函館市国民健康保険条例の一部を改正し、保険料の仮賦課、本賦課方式を廃止し、納期を9期(7月から翌年の3月まで)に改める。
- 昭和46年 4月 低所得者に対する自主軽減措置を廃止。
- 昭和46年 8月 機構改革により市民部国民保険課(賦課、収納、給付、保健の4係)に改組。
- 昭和46年 9月 助産費5,000円を10,000円に改める。
- 昭和47年 4月 葬祭費2,000円を3,000円に改める。
- 昭和48年 4月 葬祭費3,000円を5,000円に改める。
- 昭和48年12月 亀田市の編入に伴う函館市国民健康保険条例の適用の特別措置に関する条例を制定。
亀田市と合併し、国保被保険者世帯29,019世帯、被保険者79,557人となる。
- 昭和49年 4月 保険料賦課限度額80,000円を120,000円に改める。
葬祭費5,000円を10,000円に改める。
一部負担金の特例として精神病療養費の支給実施。
- 昭和49年 6月 保険料賦課事務の電算委託。
- 昭和49年 7月 任意給付として高額療養費(自己負担限度額30,000円)の支給実施。
- 昭和50年 7月 助産費10,000円を20,000円に改める。
- 昭和50年 8月 機構改革により、市民部国民保険課給付係を管理係に、亀田支所社会課国保係を同支所民生課国保管理係及び国保収納係、銭亀沢支所国保係を民生係に改組。
- 昭和50年10月 高額療養費(自己負担限度額30,000円)の支給が法定給付となる。
- 昭和51年 4月 亀田市の編入に伴う函館市国民健康保険条例の適用の特別措置に関する条例を廃止。
運営協議会委員のブロック別定数6人を7人に改める。
助産費20,000円を30,000円に改める。
保険料賦課限度額120,000円を150,000円に改める。
督促手数料30円を100円に改める。

昭和51年	8月	高額療養費の自己負担限度額39,000円となる。 歯科差額徴収制度の廃止。
昭和52年	4月	助産費30,000円を40,000円に改める。 保険料賦課限度額150,000円を170,000円に改める。 すべての異動に係る月割賦課の実施。 みなす世帯主に係る保険料賦課を廃止。
昭和52年	10月	機構改革により亀田支所民生課国保管理係及び収納係を亀田支所民生課民生係に改組。
昭和53年	4月	保険料賦課限度額170,000円を210,000円に改める。 国保保健婦を市立保健所に移管。(7名)
昭和53年	10月	高額療養費貸付制度の斡旋事務の実施。 助産費40,000円を60,000円に改める。
昭和53年	11月	柔道整復師の都道府県単位による受領委任払方式を破棄し、全国協定に改める。
昭和54年	4月	保険料賦課限度額210,000円を220,000円に改める。
昭和55年	4月	保険料賦課限度額220,000円を240,000円に改める。
昭和56年	4月	助産費60,000円を80,000円に改める。 保険料賦課限度額240,000円を260,000円に改める。
昭和57年	4月	保険料賦課限度額260,000円を270,000円に改める。
昭和57年	8月	国民健康保険医療費通知の実施。
昭和57年	9月	高額療養費自己負担限度額45,000円となる。(市民税非課税世帯及び70歳以上の者、又は65歳以上70歳未満の老人医療費支給制度対象者については39,000円)
昭和57年	12月	老人保健法の施行に伴い、函館市国民健康保険条例の一部を改正し、国民健康保険料の賦課総額の算定方式を変更し、並びに過料の額を改定する。(過料の額2,000円を20,000円に改める。)
昭和58年	1月	高額療養費自己負担限度額51,000円となる。(市民税非課税世帯及び70歳以上の者、又は65歳以上70歳未満の老人医療費支給制度対象者については39,000円)
昭和58年	2月	老人保健法実施。
昭和58年	3月	助産費80,000円を100,000円に改める。
昭和58年	4月	保険料賦課限度額270,000円を280,000円に改める。 機構改革により銭亀沢支所民生産業課民生係を銭亀沢支所民生課民生係に改組。
昭和59年	4月	給付事務及び収納消込事務の電算委託。(賦課事務、昭和49年6月電算委託) 保険料賦課限度額280,000円を350,000円に改める。ただし昭和59年度に限り320,000円とする。
昭和59年	10月	退職者医療制度施行。 高額療養費支給制度の改正。 ・市民税非課税世帯の自己負担限度額39,000円から30,000円に引き下げ。 ・世帯合算の実施。(同一世帯で30,000円(非課税21,000円)以上の自己負担限度額を合算) ・多数該当の実施。(申請月の前1年間に3回以上受給の場合4回目以降の自己負担限度額は、30,000円(非課税21,000円))

			・血友病，人工透析を必要とする慢性腎不全については，自己負担限度額10,000円。 国民健康保険料収納率向上対策を策定。 国民健康保険料（税）収納率向上対策特別事業の指定を受ける。
昭和59年	12月		高額医療費共同事業の実施。
昭和60年	4月		保険料賦課限度額は，昭和60年度に限り330,000円とする。
昭和61年	4月		保険料賦課限度額を350,000円とする。
昭和61年	5月		高額療養費自己負担限度額54,000円となる。
昭和61年	8月		運営協議会委員に被用者保険等保険者代表2名を加え定数を23名に改める。
昭和62年	1月		老人保健法の一部改正。 国民健康保険財政健全化推進要綱を策定。
昭和62年	4月		保険料賦課限度額350,000円を370,000円に改める。 納期回数9回を10回に改める。 低所得者に対し自主軽減（2割）措置を実施。
昭和63年	4月		保険料賦課限度額370,000円を390,000円に改める。 助産費100,000円を130,000円に改める。
昭和63年	6月		国民健康保険法一部改正。 ・保険基盤安定制度の創設。 ・高額医療費共同事業の都道府県負担の導入。 ・高医療費市町村の安定化計画の作成。 ・老人医療費拠出金の国庫負担率の調整。
昭和63年	10月		昭和63年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成	元年	2月	資格得喪事務の電算委託業務を自己導入により実施。 機構改革により銭亀沢支所民生係を銭亀沢支所住民係に改組。
平成	元年	3月	平成元年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成	元年	4月	保険料賦課限度額390,000円を400,000円に改める。 国民健康保険保健施設事業（ヘルスパイオニアタウン事業）の指定を受ける。 国民健康保険料（税）収納率向上特別対策事業の指定を受ける。
平成	元年	6月	高額療養費支給制度の一部改正。 ・高額療養費自己負担限度額57,000円（市民税非課税世帯31,800円）。 ・多数該当世帯の自己負担限度額33,000円（市民税非課税世帯22,200円）。
平成	元年	9月	「市民健康週間」を開催。
平成	2年	3月	平成2年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成	2年	4月	保険料賦課限度額400,000円を410,000円に改める。
平成	2年	7月	高額療養費受領委任払いを実施。
平成	2年	10月	「市民健康まつり」を開催。
平成	3年	2月	「国民健康保険事業 財政健全化に向けての基本方策」を策定。
平成	3年	3月	平成3年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成	3年	4月	保険料賦課限度額410,000円を430,000円に改める。
平成	3年	5月	高額療養費支給制度の一部改正。 ・高額療養費自己負担限度額60,000円（市民税非課税世帯33,600円）。 ・多数該当世帯の自己負担限度額34,800円（市民税非課税世帯23,400円）。

平成	3年	10月	「第3回 市民健康まつり」を開催。
平成	4年	3月	平成4年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成	4年	4月	国民健康保険保健施設事業（ヘルスパイオニアタウン事業パートⅡ）の指定を受ける。 事務費（人件費分）および助産費の一般財源化。（国） 助産費130,000円を240,000円に改める。 保険料賦課限度額430,000円を440,000円に改める。 賦課割合を改定。（資産割を平成6年度までの3年間で段階的に廃止し、その相当分を 応益割へ移行） 国民健康保険財政安定化支援事業が創設される。（国）
平成	4年	10月	「第4回 市民健康まつり」を開催。
平成	5年	3月	平成5年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成	5年	4月	保険料賦課限度額440,000円を460,000円に改める。 機構改革により、市民部国民保険課を市民部国民健康保険課に名称変更。 国民健康保険財政安定化支援事業が平成6年度までの暫定措置とされる。（国） 賦課割合を改定。
平成	5年	5月	高額療養費支給制度の一部改正。 ・高額療養費自己負担限度額63,000円（市民税非課税世帯35,400円）。 ・多数該当世帯の自己負担限度額37,200円（市民税非課税世帯24,600円）。
平成	5年	10月	「第5回 市民健康まつり」を開催。
平成	6年	3月	平成6年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成	6年	4月	保険料賦課限度額460,000円を480,000円に改める。 賦課割合を改定。（資産割を廃止。）
平成	6年	10月	助産費を出産育児一時金とし、240,000円を300,000円に改める。 入院時食事療養費を創設。（国） 「第6回 市民健康まつり」を開催。
平成	7年	3月	平成7年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成	7年	4月	保険料賦課限度額480,000円を500,000円に改める。 葬祭費10,000円を30,000円に改める。 国民健康保険制度改正 ・保険料軽減制度の拡充。（4割・6割の法定軽減を、賦課割合に応じ7割・5割・2割） ・保険基盤安定制度に係る暫定措置。 ・国保財政安定化支援事業の継続・暫定的制度化。（平成8年度までの暫定措置） ・高額医療費共同事業の拡充。 ・基準超過医療費共同負担制度の見直し。（負担基準 1.20を1.17） 老人保健制度改正 ・老人保健医療費拠出金の算定に係る老人加入率上限を、平成7年度 22%。
平成	7年	10月	「第7回 市民健康まつり」を開催。
平成	8年	3月	平成8年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成	8年	4月	賦課割合を改定し、応能割・応益割を50：50とする。 老人保健制度改正 ・老人保健医療費拠出金の算定に係る老人加入率上限を、平成8年度 24%。

平成 8年 6月	高額療養費支給制度の一部改正。 ・高額療養費自己負担限度額63,600円。
平成 8年10月	「第8回 市民健康まつり」を開催。
平成 9年 3月	平成9年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成 9年 4月	国民健康保険制度改正 ・保険料軽減制度の国庫負担を平成11年度に本則の2分の1に戻す。 ・国保財政安定化支援事業の継続。(平成11年度まで) ・高額医療費共同事業の拡充・継続。 老人保健制度改正 ・老人保健医療費拠出金の算定に係る老人加入率上限を、平成9年度 25%。
平成 9年 4月	「市民健康まつり」の主管を市立保健所へ移管。
平成 9年 9月	外来の薬剤にかかる一部負担金の導入。(国)
平成10年 3月	平成10年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成10年 4月	国民健康保険制度改正 ・事務費の全額を一般財源化。(国)
平成10年 7月	老人保健制度改正 ・老人保健医療費拠出金の算定に係る老人加入率上限を、平成10年7月から30%。 ・退職被保険者等に係る老人保健医療費拠出金の負担方法の見直し。(国保と被用者保険で折半)
平成11年 3月	平成11年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成11年 7月	老人保健制度改正 ・老人の薬剤一部負担金を免除。(国) ・老人保健医療費拠出金における老人の薬剤一部負担金免除の影響額を納付猶予。
平成12年 3月	平成12年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成12年 4月	介護納付金制度創設に伴う制度改正 ・国保の第2号被保険者に対し、介護納付金分保険料を賦課。 ・資格証明書交付の義務化。 ・保険給付費の一時差止の義務化。 ・保険給付費から滞納保険料控除の制度化。 国保財政安定化支援事業の継続。(平成12年度まで) 高額医療費共同事業の継続。 介護円滑導入対策基金の設置。 ・国が資金を交付して国保中央会に基金を設置し、保険者を支援する。(平成13年度まで) ・脳ドックの実施。
平成13年 1月	国民健康保険制度改正 ・住所地特例の対象施設(特別養護老人ホーム等)に介護保険施設を加えた。 ・住所地特例の対象を全ての長期入院に拡大(疾病の別を問わない)。 ・海外療養費の創設。 ・資料の提供等に関わる根拠規定の整備。 ・高額療養費に係る自己負担限度額の見直し。(低所得者・一般・上位所得者に区分)

		<ul style="list-style-type: none"> ・入院時食事療養費に係る標準負担額の見直し。
		老人保健制度改正
		<ul style="list-style-type: none"> ・老人の薬剤一部負担金の廃止。 ・老人の一部負担金の改正。 ・老人高額医療費支給制度の創設。
平成13年	3月	平成13年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成13年	4月	<p>国保財政安定化支援事業の継続。(平成13年度暫定 地方財政措置 1,250億円 → 1,000億円)</p> <p>基礎賦課限度額500,000円を510,000円に改める。</p>
平成14年	3月	平成14年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成14年	4月	<p>国保財政安定化支援事業の継続。(平成17年度までの暫定 地方財政措置 1,000億円)</p> <p>基礎賦課限度額510,000円を520,000円に改める。</p>
平成14年	10月	<p>国民健康保険制度改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部負担額の見直し。(3歳未満の乳幼児2割,70歳以上一般1割・一定以上所得者2割) ・高額療養費に係わる自己負担限度額の見直し。 ・国保広域化等支援基金の創設。 <p>老人保健制度改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象年齢を70歳以上から75歳以上に引き上げ。(5年間で段階的に引き上げ) ・一部負担額の見直し。(1割(一定以上所得者は,2割),月額上限は廃止) ・高額医療費の見直し。(外来・世帯ごとに自己負担限度額が設けられた) ・公費負担割合を30%から50%に引き上げ。(5年間で段階的に引き上げ) ・老人保健医療費拠出金の算定に係る老人加入率上限(30%)の撤廃。 ・退職被保険者等に係る老人医療費拠出金の見直し。(全額を被用者保険等が負担)
平成15年	3月	平成15年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成15年	4月	<p>国民健康保険制度改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退職被保険者等の一部負担額の見直し。(3歳未満,70歳以上を除き3割,特例療養費の廃止) ・外来薬剤一部負担金の廃止。 ・高額療養費に係わる自己負担限度額の見直し。 ・保険者支援制度の創設。 ・高額医療費共同事業の拡充・制度化。 ・保険料の徴収の私人委託。 ・保険料の算定方法の見直し。(給与所得特別控除・公的年金等特別控除の廃止,青色専従者等控除・長期譲渡所得等特別控除の適用) <p>介護納付金賦課限度額70,000円を80,000円に改める。</p>
平成16年	3月	平成16年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成16年	11月	戸井町,恵山町,榎法華村および南茅部町の編入に伴う函館市国民健康保険条例の適用の経過措置に関する条例を制定。
平成16年	12月	<p>戸井町,恵山町,榎法華村,南茅部町を編入合併。</p> <p>国保被保険者世帯63,093世帯,被保険者110,376人となる。</p>

平成17年	3月	平成17年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成17年	4月	国民健康保険制度改正 <ul style="list-style-type: none"> ・保険料の算定方法の見直し。(土地・建物等の長期譲渡所得に係る100万円の特別控除の廃止) ・一般被保険者に係る基礎賦課総額等の算定方法の見直し。(都道府県調整交付金の創設) ・三位一体改革に伴う、都道府県調整交付金の導入、国庫負担(定率国庫負担及び調整交付金)の割合の見直し。 ・保険基盤安定制度(保険料軽減分)の国及び都道府県の負担割合の見直し。(国負担割合1/2→0, 都道府県負担割合1/4→3/4)
平成18年	3月	平成18年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成18年	4月	国保財政安定化支援事業の継続。(平成21年度までの暫定 地方財政措置 1,000億円) <p>精神病療養費の廃止。</p> <p>国民健康保険制度改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険料の算定方法の見直し。(公的年金等控除の見直しに伴う激変緩和措置, 条約適用利子等に係る利子所得等の特例) ・高額医療費共同事業の継続実施。(平成21年度までの暫定措置) <p>介護納付金賦課限度額80,000円を90,000円に改める。</p>
平成18年	10月	国民健康保険制度改正 <ul style="list-style-type: none"> ・一部負担金の見直し。(現役並所得を有する70才以上 3割) ・療養病床に入院する70才以上の食費・居住費の見直し。 ・出産育児一時金300,000円を350,000円に改める。 ・高額療養費に係わる自己負担限度額の見直し。 ・保険財政共同安定化事業の創設。(平成21年度までの暫定措置)
平成19年	2月	国民健康保険制度改正 <ul style="list-style-type: none"> ・出産育児一時金受取代理制度の創設。
平成19年	3月	平成19年度国民健康保険事業運営安定化計画策定
平成19年	4月	国民健康保険制度改正 <ul style="list-style-type: none"> ・70歳未満の高額療養費の現物給付の開始。 <p>基礎賦課限度額520,000円を540,000円に改める。</p>
平成20年	3月	平成20年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。
平成20年	4月	国民健康保険制度改正 <ul style="list-style-type: none"> ・75歳以上被保険者の後期高齢者医療制度への移行。(老人保健制度の廃止) ・退職者医療制度の原則廃止。(64歳以下は経過的に継続) ・後期高齢者医療制度に対する支援金の創設。(保険料算定区分に後期高齢者支援金等分の追加) ・65～74歳の前期高齢者の加入割合に応じて、全保険者間での財政調整の実施 ・特定健康診査・特定保健指導の実施。(全保険者に義務づけ) ・高額医療・高額介護合算制度の創設。

- ・一部負担金の見直し。(3歳～義務教育就学前 3割→2割 , 70～74歳 1割→2割 (※))

※平成20年度においては、暫定的に1割に据置。

- ・後期高齢者医療制度移行に伴う経過措置。(特定世帯：5年間平等割賦課額を1/2減額する)

基礎賦課限度額540,000円を450,000円に改め、後期高齢者支援金等賦課限度額120,000円を創設。

平成20年10月

国民健康保険制度改正

- ・年金からの特別徴収開始。

平成21年 1月

国民健康保険制度改正

- ・出産育児一時金産科医療補償制度に加入の医療機関等で出産した場合30,000円を加算。
- ・75歳到達月の高額療養費自己負担限度額の見直し。(1/2)

平成21年 3月

平成21年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。

平成21年 4月

国民健康保険制度改正

- ・一部負担金 70～74歳 1割に据置。(平成22年3月まで)

平成21年 9月

一部負担金に係るモデル事業実施。(平成22年3月まで)

平成21年10月

国民健康保険制度改正

- ・出産育児一時金直接払制度

※平成21年10月1日～平成23年3月31日までの出産について4万円引き上げる。

平成22年 3月

平成22年度国民健康保険事業運営安定化計画策定。

平成22年 4月

国民健康保険制度改正

- ・一部負担金 70～74歳 1割に据置。(平成23年3月まで)

基礎賦課限度額450,000円を480,000円に、後期高齢者支援金等賦課限度額120,000円を130,000円に、介護納付金賦課限度額90,000円を100,000円に改める。

- ・非自発的失業者の保険料、高額療養費の軽減。

- ・コンビニ納付開始。

- ・督促手数料廃止。(平成22年度賦課分から)

- ・国保財政安定化支援事業の継続。(平成25年度まで 地方財政措置 1,000億円)

- ・高額医療費共同事業の継続。(平成25年度まで)

- ・保険財政共同安定化事業の継続。(平成25年度まで)

平成23年 4月

国民健康保険制度改正

- ・出産育児一時金390,000円とする措置の継続。

- ・一部負担金 70～74歳 1割に据置。(平成24年3月まで)

基礎賦課限度額480,000円を500,000円に、後期高齢者支援金等賦課限度額130,000円を140,000円に、介護納付金賦課限度額100,000円を120,000円に改める。

平成24年	4月	国民健康保険制度改正	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫負担（定率国庫負担《34%→32%》および都道府県調整交付金《7%→9%》）の割合の見直し。 ・高額療養費の外来診療の現物給付の開始。 ・一部負担金 70～74歳 1割に据置。（平成25年3月まで） ・国保財政安定化支援事業の延長。（平成26年度まで 地方財政措置 1,000億円） ・高額医療費共同事業の延長。（平成26年度まで） ・保険財政共同安定化事業の延長。（平成26年度まで）
平成24年	6月		<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品差額通知実施。
平成24年	7月		<ul style="list-style-type: none"> ・ペイジー口座振替受付開始。
平成25年	4月	国民健康保険制度改正	<ul style="list-style-type: none"> ・一部負担金 70～74歳 1割に据置。（平成26年3月まで） ・後期高齢者医療制度移行に伴う経過措置。（特定世帯の恒久化，特定継続世帯の新設：最初の5年間平等割賦課額を1/2減額，その後3年間1/4減額）
平成25年	5月		<ul style="list-style-type: none"> ・柔道整復施術療養費に関する患者調査等実施。
平成26年	4月	国民健康保険制度改正	<ul style="list-style-type: none"> ・一部負担金 70～74歳 平成26年4月以降70歳到達者から，段階的に本来の2割負担とし，それ以前の70歳到達者は，特例措置の1割が継続。 ・低所得者に係る法定軽減措置の拡充。（5割軽減・2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得基準の緩和，5割軽減に単身世帯も適用） ・基礎賦課限度額500,000円を510,000円に，後期高齢者支援金等賦課限度額140,000円を160,000円に，介護納付金賦課限度額120,000円を140,000円に改める。
平成27年	1月	国民健康保険制度改正	<ul style="list-style-type: none"> ・出産育児一時金390,000円を404,000円に，産科医療補償制度掛金に係る加算額30,000円を16,000円に改める。
平成27年	4月	国民健康保険制度改正	<ul style="list-style-type: none"> ・国保財政安定化支援事業の恒久化。（平成27年度から 地方財政措置1,000億円） ・高額医療費共同事業の恒久化。（平成27年度から） ・保険財政共同安定化事業の恒久化。（平成27年度から 対象医療費が30～80万円だったものを，すべての医療費に拡大） ・低所得者に係る法定軽減基準額の改定。（5割軽減・2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得基準の緩和） ・基礎賦課限度額510,000円を520,000円に，後期高齢者支援金等賦課限度額160,000円を170,000円に，介護納付金賦課限度額140,000円を160,000円に改める。
平成27年	7月		函館市国民健康保険データヘルス計画策定。
平成28年	4月	国民健康保険制度改正	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得者に係る法定軽減基準額の改定。（5割軽減・2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得基準の緩和）

			<ul style="list-style-type: none"> ・基礎賦課限度額520,000円を540,000円に、後期高齢者支援金等賦課限度額170,000円を190,000円に改める。
平成29年	4月	国民健康保険制度改正	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得者に係る法定軽減基準額の改定。(5割軽減・2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得基準の緩和)
平成29年	8月	国民健康保険制度改正	<ul style="list-style-type: none"> ・高額療養費の自己負担限度額の見直し。(70歳以上75歳未満の所得区分変更)
平成30年	4月	国民健康保険制度改正	<ul style="list-style-type: none"> ・国保の都道府県単位化。 ・低所得者に係る法定軽減基準の見直し。(5割軽減・2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得基準の緩和) ・基礎賦課限度額540,000円を580,000円に改め、後期高齢者支援金等賦課限度額および介護納付金賦課限度額を据置。
平成30年	8月		<ul style="list-style-type: none"> ・70歳以上の高額療養費の限度額改定。 ・70歳以上の高額療養費の限度額改定に伴う高額介護合算療養費の限度額改定。
平成31年	4月	国民健康保険制度改正	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得者に係る法定軽減基準の見直し。(5割軽減・2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得基準の緩和) ・基礎賦課限度額580,000円を610,000円に改め、後期高齢者支援金等賦課限度額および介護納付金賦課限度額を据置。
令和元年	8月	保険証と高齢受給者証の一体化。(都道府県単位化)	
令和元年	9月	函館市国民健康保険財政調整基金設置	
令和2年	4月	国民健康保険制度改正	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得者に係る法定軽減基準の見直し。(5割軽減・2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得基準の緩和) ・基礎賦課限度額610,000円を630,000円に、介護納付金賦課限度額160,000円を170,000円に改め、後期高齢者支援金等賦課限度額を据置。 ・賦課割合を改定し、応能割・応益割を49:51とする。
令和2年	5月	新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に係る傷病手当金について、国の基準に基づく支給を実施。	
令和2年	6月	新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少等が生じた世帯に対し、国の基準に基づく減免を実施(令和3年3月まで)。	
令和3年	4月	新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少等が生じた世帯に対し、国の基準に基づく減免を実施(令和4年3月まで)。	
令和4年	1月	国民健康保険制度改正	<ul style="list-style-type: none"> ・出産育児一時金404,000円を408,000円に、産科医療補償制度掛金に係る加算額16,000円を12,000円に改める。
令和4年	4月	国民健康保険制度改正	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎賦課限度額630,000円を650,000円に、後期高齢者支援金等賦課限度額190,000円を200,000円に改め、介護納付金賦課限度額を据置。

- ・賦課割合を改定し，応能割・応益割を48：52とする。
- ・未就学児の被保険者均等割額の減額を実施（未就学児の基礎賦課額および後期高齢者支援金等賦課額の5割を軽減）。

新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少等が生じた世帯に対し，国の基準に基づく減免を実施（令和5年3月まで）。

スマートフォン決済開始。

令和 5年 3月 新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に係る傷病手当金について，国の基準に基づく支給を終了（令和5年5月7日まで）。

令和 5年 4月 国民健康保険制度改正

・低所得者に係る法定軽減基準の見直し。（5割軽減・2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得基準の緩和）

・後期高齢者支援金等賦課限度額200,000円を220,000円に改め，基礎賦課限度額および介護納付金賦課限度額を据置。

・賦課割合を改定し，応能割・応益割を47：53とする。

・出産育児一時金408,000円を488,000円に改める。

預貯金電子照会サービスの利用開始

令和 5年 5月 新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少等が生じた世帯に対する国の基準に基づく減免を令和4年度分の保険料で終了。

医療費改正の変遷

昭和33年	10月	点数表を甲・乙表に改正し、1点単価10円と改める。医療費 8.5%の引上げ。
昭和36年	7月	診療報酬点数表の改訂により医療費 12.5%の引上げ。
	12月	診療報酬点数表の一部改訂により医療費 2.3%の引上げ。
昭和38年	5月	医療費 1.5%の引上げ。(結核治療指針改正)
	9月	診療報酬地域差を撤廃、及びそれに伴い医療費 3.7%の引上げ。
昭和40年	1月	診療報酬点数表の改訂により医療費 9.5%の引上げ。
	11月	薬価基準の 4.5%引下げに伴う診察料、検査料の改訂により技術料 3%の引上げ。
昭和42年	10月	薬価基準の 10.2% (医療費ベース、一般診療 3.97%, 歯科診療 0.21%) の引下げ。
	12月	診療報酬点数表の改訂により医療費 (一般診療 7.68%, 歯科診療 12.65%) の引上げ。
昭和43年	7月	歯科材料費の改定により歯科診療費 1.99%の引上げ。
昭和44年	1月	薬価基準 2.0%の引下げ。
昭和45年	2月	診療報酬点数表の改訂により医療費 (一般診療 8.77%, 歯科診療 9.73%) の引上げ。
	7月	診療報酬点数表の改訂により一般診療のみ 0.97%の引上げ。
昭和47年	2月	診療報酬点数表の改訂により医療費 13.7% (一般診療 13.7%, 歯科診療 13.7%, 調剤 6.54%) の引上げ、及び薬価基準 3.9% (医療費ベース 1.7%) の引下げ。
昭和49年	2月	診療報酬点数表の改訂により医療費 19.0% (一般診療 19.0%, 歯科診療 19.9%, 調剤 8.5%) の引上げ、及び薬価基準 3.9% (医療費ベース 1.5%) の引下げ。
	10月	診療報酬点数表の改訂により医療費 16.0% (一般診療 16.0%, 歯科診療 16.2%, 調剤 6.6%) の引上げ。
昭和50年	1月	薬価基準 1.6% (医療費ベース 0.4%) の引下げ。
昭和51年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 9.1% (一般診療 9.0%, 調剤 4.9%) の引上げ。
	8月	診療報酬点数表の改訂により歯科診療 9.6%の引上げ。
昭和53年	2月	診療報酬点数表の改訂により医療費 11.6% (一般診療 11.5%, 歯科診療 12.7%, 調剤 5.6%) の引上げ、及び薬価基準 5.8% (医療費ベース 2.0%) の引下げ。
昭和56年	6月	診療報酬点数表の改訂により医療費 8.1% (一般診療 8.4%, 歯科診療 5.9%, 調剤 3.8%) の引上げ、及び薬価基準 18.6% (医療費ベース 6.1%) の引下げ。
昭和58年	1月	薬価基準 4.9% (医療費ベース 1.5%) の引下げ。
	2月	診療報酬点数表の改訂により医療費 0.29%の引上げ。(老人保健診療報酬設定に伴う一般診療分の微調整)
昭和59年	3月	診療報酬点数表の改訂により医療費 2.8% (一般診療 3.0%, 歯科診療 1.1%, 調剤 1.0%) の引上げ、及び薬価基準 16.6% (医療費ベース 5.1%) の引下げ。
昭和60年	3月	診療報酬点数表の改訂により医療費 3.3% (一般診療 3.5%, 歯科診療 2.5%, 調剤 0.2%) の引上げ、及び薬価基準 6.0% (医療費ベース 1.9%) の引下げ、材料価格 0.2% の引下げ。
昭和61年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 2.3% (一般診療 2.5%, 歯科診療 1.5%, 調剤 0.3%) の引上げ、及び薬価基準 5.1% (医療費ベース 1.9%) の引下げ、歯科材料価格 0.1%の引下げ。
昭和63年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 3.4% (一般診療 3.8%, 調剤 1.7%) の引上げ、及び薬価基準 10.2% (医療費 2.9%) の引下げ。
	6月	診療報酬点数表の改訂により歯科診療 0.1%の引上げ。
平成 元年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 0.11% (一般診療 0.8%, 歯科診療 0.32%, 調剤 1.5%) の引上げ、及び薬価基準 2.4% (医療費ベース 0.65%) の引上げ。
平成 2年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 3.7% (一般診療 4.0%, 歯科診療 1.4%, 調剤 1.9%) の引上げ、及び薬価基準 9.2% (医療費ベース 2.75%) の引上げ。
平成 4年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 5.0% (一般診療 5.0%) の引上げ、及び薬価基準 8.1% (医療費ベース 2.4%) の引下げ、材料費等 0.1%の引下げ。

平成 6年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 3.3%の引上げ, 及び薬価基準 2.1% (医療費ベース 1.2%) の引下げ。
	10月	診療報酬点数表の改訂により医療費 1.5%の引上げ。(平年度ベース 1.95%引上げ)
平成 8年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 3.4%の引上げ, 及び薬価基準 6.8% (医療費ベース 2.6%) の引下げ。
平成 9年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 0.38% (消費税 0.77%, 診療報酬の合理化 0.93%の引上げ及び薬価基準 1.32%の引下げ) の引上げ。
平成10年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 1.5% (一般診療 1.5%, 歯科診療 1.5%, 調剤 0.7%) の引上げ, 及び薬価基準 9.7% (医療費ベース 2.7%) の引下げ, 材料価格 0.1%の引下げ。
平成12年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 1.9% (一般診療 2.0%, 歯科診療 2.0%, 調剤 0.8%) の引上げ, 及び薬価基準 7.0% (医療費ベース 1.7%) の引下げ。
平成14年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 1.3% (一般診療 1.3%, 歯科診療 1.3%, 調剤 1.3%) の引下げ, 薬価基準 6.2% (医療費ベース 1.3%) の引下げ, 及び医療材料で 0.1%の引下げ。
平成16年	4月	診療報酬点数表の改訂により薬価基準 4.2% (医療費ベース 0.9%) の引下げ, 及び医療材料で 0.1%の引下げ。
平成18年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 1.4% (一般診療 1.5%, 歯科診療 1.5%, 調剤 0.6%) の引下げ, 薬価基準 6.7% (医療費ベース 1.6%) の引下げ, 及び医療材料で 0.2%の引下げ。
平成20年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 0.38% (一般診療 0.42%, 歯科診療 0.42%, 調剤 0.17%) の引上げ, 薬価基準 1.1% (薬価ベース 5.2%) の引下げ, 及び医療材料で 0.1%の引下げ。
平成22年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 1.55% (一般診療 1.74%, 歯科診療 2.09%, 調剤 0.52%) の引上げ, 薬価基準 1.23% (薬価ベース 5.75%) の引下げ, 及び医療材料で 0.13%の引下げ。
平成24年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 1.38% (一般診療 1.55%, 歯科診療 1.70%, 調剤 0.46%) の引上げ, 薬価基準 1.26% (薬価ベース 6.00%) の引下げ, 及び医療材料で 0.12%の引下げ。
平成26年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 0.73% (一般診療 0.82%, 歯科診療 0.99%, 調剤 0.22%) の引上げ, 薬価基準 0.58% (薬価ベース 2.65%) の引下げ, 及び医療材料で 0.05%の引下げ。
平成28年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 0.49% (一般診療 0.56%, 歯科診療 0.61%, 調剤 0.17%) の引上げ, 薬価基準 1.22% (薬価ベース 5.57%) の引下げ, 及び医療材料で 0.11%の引下げ。
平成30年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 0.55% (一般診療 0.63%, 歯科診療 0.69%, 調剤 0.19%) の引上げ, 薬価基準 1.65% (薬価ベース 7.48%) の引下げ, 及び医療材料で 0.09%の引下げ。
令和 元年	10月	診療報酬点数表の改訂により医療費 0.41% (一般診療 0.48%, 歯科診療 0.57%, 調剤 0.12%) の引上げ, 薬価基準 0.51% (薬価ベース 2.40%) の引下げ, 及び医療材料で 0.03%の引上げ。
令和 2年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 0.47% (一般診療 0.53%, 歯科診療 0.59%, 調剤 0.16%) 引上げ, 薬価基準 0.99% (薬価ベース 4.38%) の引下げ, 及び医療材料で 0.02%の引下げ。
令和 3年	4月	薬価改定により平均乖離率 8.0%の 0.625 倍 (乖離率 5.0%) を超える品目について, 基準を改定。
令和 4年	4月	診療報酬点数表の改訂により医療費 0.43% (一般診療 0.26%, 歯科診療 0.29%, 調剤 0.08%) 引上げ, 薬価基準 1.35% (薬価ベース 6.69%) の引下げ, 及び医療材料で 0.02%の引下げ。

令和 5年 4月 薬価改定により平均乖離率7.0%の0.625倍(乖離率4.375%)を超える品目について、
基準を改定。

こくほはこだて
(令和5年度(2023年度)版)

令和5年9月発行

編集・発行 函館市市民部国保年金課
函館市東雲町4番13号
電話 (0138)21-3147